

SyncMaster 400TSn/460TSn

# LCD モニター

## ユーザー マニュアル

# 安全使用上の注意

## 表記法



安全を確保し損害を防止するために、これらの安全使用上の注意に従う必要があります。

指示をよく読んで、正しい方法で製品を使用します。

### 警告/注意



このマークの付いた指示に従わなかった場合には、人体への傷害または機器の損傷を招くことがあります。

### 国内規制



禁止



必ずよく読んで理解していただくことが重要です



分解しないでください



コンセントからプラグを抜いてください



触れないでください



感電を防ぐために、アースを行ってください

## 電源



長期間使用しない場合には、コンピュータを DPM に設定します。

スクリーンセーバーを使用している場合には、アクティブスクリーンモードに設定します。

下記に記載された絵はあくまでもイメージです。

残像防止方法へのショートカット



▶破損した電源コードまたはプラグ、破損またはがたつきのあるコンセントを使用しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶コンセントにプラグを抜き差しするときに、濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



▶電源コードは、アースされたコンセントに接続してください。

- 漏電または傷害の原因となることがあります。



▶電源プラグはコンセントにしっかりと正しく差し込みます。

- 火災の原因となることがあります。



▶電源プラグを無理に曲げたり引っ張らないでください。また、重い物をプラグの上に乗せないでください。

- 火災の原因となることがあります。



▶同じコンセントに複数の電気製品を接続しないでください。

- 過熱による火災の原因となることがあります。



▶製品の使用中は電源コードを外さないでください。

- 感電によるモニターの故障の原因となることがあります。



▶本体から電源を抜く場合や、コンセントから電源を抜く場合のことを考えて、余裕を持って抜き差しができる環境に設置をしてください。

- 感電や火災の原因になることがあります。



▶付属の電源コードセットは本製品のみにご使用ください。他製品には使用しないでください。他の製品に付属する電源コードを使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

## インストール



ほこりが多い場所、非常な高温または低温にさらされる場所、湿度の高い場所、化学溶媒が使用されている場所、および空港や駅など 24 時間製品を使用する場所に設置する場合には、認定お客様相談ダイヤルにご相談ください。

ご相談せずに設置した場合、モニターに重大な損傷が発生することがあります。



▶製品の移動は必ず 2 人以上で行ってください。

- 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。



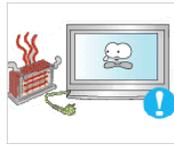
▶キャビネットやラックなど高いところに製品を設置するときには、製品がはみ出たりしないようしっかりと安定した状態で設置してください。

- 落下または傷害の原因になる場合があります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットまたはラックを使用してください。



▶ろうそく、蚊取り線香、タバコおよびその他の熱源を製品に近づけないでください。

- 火災の原因となることがあります。



▶電源コードまたは製品は、熱源となる機器からできるかぎり離してください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶本棚やクローゼットなど、換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。



▶製品を下ろすときには、手荒に扱わないでください。

- 表示画面が損傷する場合があります。



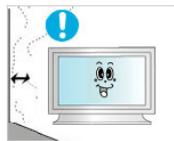
▶製品の前面を下にして床に置かないでください。

- 表示画面が損傷する場合があります。



▶壁掛け金具の設置は、認定を受けた設置会社が行うようにしてください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 指定された壁掛け金具を設置してください。



▶製品は、換気が十分に行われる場所に設置してください。壁から 10 cm 以上離してください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。



▶梱包材のビニールに、お子様が手を触れないようにしてください。

- お子様がビニールで遊んでいると、重大な傷害(窒息)の原因となることがあります。



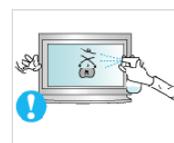
▶モニターの高さ調整の際には指や手を挟まないよう十分ご注意ください。

- 製品の損傷またはけがをする恐れがあります。

## お手入れ



モニターの筐体または TFT-LCD 画面の表面を清掃するときには、少し湿らせた柔らかい布で拭き取ります。



▶製品の表面にクリーナーを直接スプレーしないでください。

- 本体の脱色または歪み、画面表面のはがれが発生することがあります。



▶製品の清掃には、モニタークリーナーを柔らかい布につけて使用してください。モニタークリーナー以外の洗剤を使用する場合には水で 10 倍に薄めてから使用してください。



▶電源プラグのピンを清掃するとき、またはコンセントのほこりを取り除くときは、乾いた布を使用します。

- 火災の原因となることがあります。



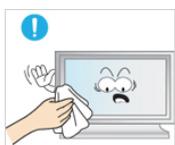
▶製品を清掃するときは、電源コードを切り離してください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



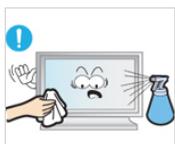
▶製品を清掃するときには、まず電源コードを外して乾いた布で力を入れずに拭き取ります。

- (ワックス、ベンゼン、アルコール、シンナー、殺虫剤、潤滑剤またはクリーナーなどの化学薬品を使用しないでください)これらの薬品によって、製品表面の外観が変わったり、製品の表示ラベルがはがれることがあります。



▶製品の筐体にはキズが付きやすいため、液晶モニター用のクリーニングクロスを使用してください。

- クリーニングクロスに少量の水をつけて使用してください。また、クリーニングクロスに異物がついていると製品にキズがつきますので、使用前に異物がついていないかよくご確認ください。



▶製品を清掃するときには、製品本体に水を直接かけないでください。

- 水が製品内に入らないようにし、濡れないようにしてください。

- 感電、火災または故障の原因となることがあります。

## その他



▶この製品は、高電圧を使用しています。お客様ご自身で製品の分解、修理または改造を行わないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。修理が必要な場合には、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。



▶製品から異臭や異音、煙が出る場合には、直ちに電源プラグを抜いてお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶製品を湿気、ほこり、煙、水がかかる場所、または自動車の中に設置しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶製品が落下したりケースが破損した場合には、電源をオフにして電源コードを切り離してください。お客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



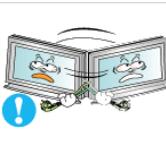
▶雷が発生した場合には、電源コードまたはアンテナケーブルに触れないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶配線または信号ケーブルのみを持ってモニターを動かさないでください。

- ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。



▶電源コードまたは信号ケーブルだけを持って、製品を持ち上げたり、前後または左右に動かさないでください。

- ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。



▶テーブルやカーテンで換気口がふさがれないようにしてください。

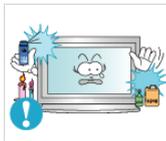
- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。



▶水の入った容器、花瓶、植木鉢、医薬品や、金属類を製品の上に置かないでください。

- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを切り離してお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 製品の故障、感電または火災につながる恐れがあります。



▶可燃性のスプレーまたは可燃物を製品に近づけないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



▶箸、コイン、ピンおよび刃物などの金属類、マッチや紙などの可燃物を（換気口、入出力端子などから）製品の中に入れてください。

- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを切り離してお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶静止画面を長時間表示し続けると、残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。また、場合によっては液晶パネルが焼き付けを起こす場合があります。

- 長時間製品を試用しない場合には、スリープモードにするか動きのあるのスクリーンセイバーを使用します。



▶製品に適した解像度および周波数を設定します。

- 視力に影響を与えることがあります。

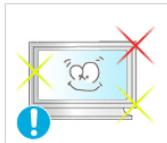


▶ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。



▶製品を近くで長時間見ないでください。



▶モニターを1時間使用したら、少なくとも5分間の休憩をとります。

- 目の疲れが軽減されます。



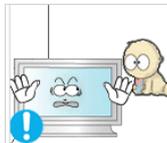
▶不安定な棚や平らでない面、または振動の多い場所に設置しないでください。

- 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。



▶製品を移動するときには、電源をオフにして、電源プラグ、アンテナケーブル、および製品に接続されているすべてのケーブルを切り離します。

- 感電または火災の原因となることがあります。



▶お子様が製品にぶら下がったり、よじ登らないようにしてください。

- 製品が落下して傷害または死亡事故の原因になる場合があります。



▶製品を長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。

- ほこりがたまって過熱または火災の原因となったり、感電または漏電の原因となることがあります。



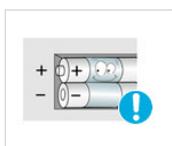
▶製品に重たいものを乗せたり、小さいお子様が興味を示すようなもの（おもちゃやお菓子など）を置いたりしないでください。

- お子様が製品にぶら下がって、落下により傷害または死亡事故の原因となることがあります。



▶リモコンから電池を取り外したときには、お子様が電池を口の中に入れてないようにしてください。電池は、子供または乳児の手の届かない場所に置いてください。

- お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。



▶ 電池を交換するときには、正しい極性 (+、-) の向きに入れてください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、傷害または故障の原因となることがあります。



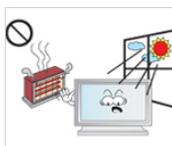
▶ 指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。



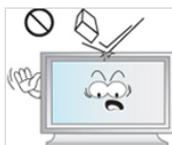
▶ バッテリ (および充電式バッテリー) は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。使用済みのバッテリーをリサイクルのために返送する責任はお客様にあります。

- お客様は、使用済みの充電式バッテリーを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリーおよび充電式バッテリーを販売している店舗に返送することができます。



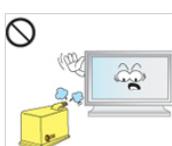
▶ 直射日光の当たる場所、炎またはヒーターなどの熱源の近くに製品を置かないでください。

- 製品の寿命が短くなったり、火災の原因となることがあります。



▶ 製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



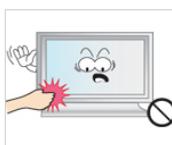
▶ 製品の近くで加湿器やキッチンテーブルを使用しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



▶ ガス漏れがあった場合には、製品または電源プラグに触れずに直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生すると、爆発または火災が発生することがあります。



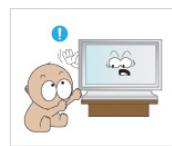
▶ 長時間電源をオンにしていると液晶パネルが高温になりますので触れないでください。

- 特に小さなお子様が触れないよう十分ご注意ください。



▶ 製品の角度またはスタンドの高さを調整するときには注意してください。

- 手や指を挟まれると、傷害の原因となることがあります。
- また、製品を傾けすぎると、転倒して傷害の原因となることがあります。



▶ 製品を子供の手の届く高さに設置しないでください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。



▶製品の上に重い物を載せないでください。

- けがや製品の破損の原因となることがあります。

---

# はじめに

## パッケージ内容



ご使用前に、LCD ディスプレイと共に以下の付属品が揃っているか確認してください。

不足している物がある場合は、購入された販売店へお問い合わせください。

オプション品の購入については、お近くの販売店にお問い合わせください。



このスタンドは、床置きタイプではありません。

## 開梱



LCD ディスプレイ

## マニュアル類



クイック セットアップ ガ  
イド



保証カード



ユーザー ガイド

(含まれていない地域もあ  
ります)

## ケーブル



D-Sub ケーブル



電源コード

## その他



その他

リモートコントロール

バッテリー (AAA X 2)

HDD カバー

(含まれていない地域もあります)

別売り



DVI ケーブル



ウォール マウント キット



セミ スタンド キット



LAN ケーブル



TV チューナー ボックス

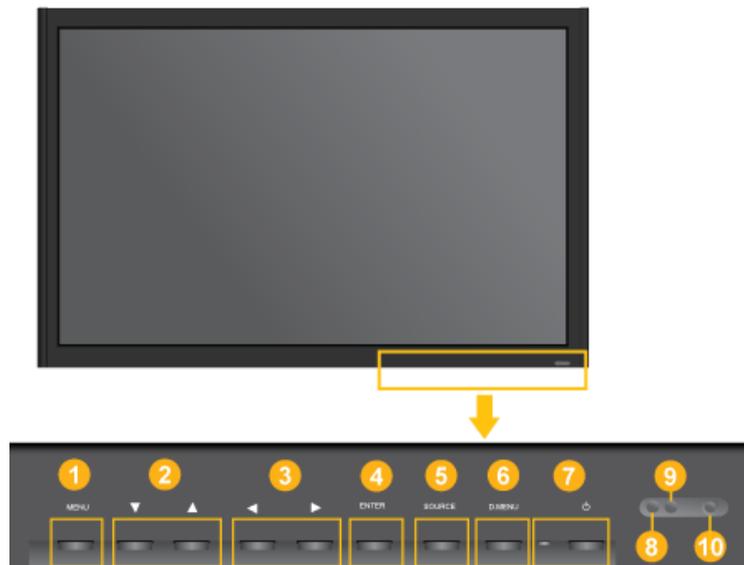


注意

- 別売りのネットワーク ボックスまたは TV チューナー ボックスを購入して接続することができます。これらの使用方法については、それぞれの製品のユーザー マニュアルを参照してください。
- 外部ボックスは 1 台のみ接続できます。

お使いの LCD ディスプレイ

前面



① MENU ボタン [MENU]

オンスクリーン メニューを開いたり、メニューを終了します。OSD メニューを終了したり前のメニューに戻る場合にも使用します。

2 ナビゲーション ボタン(上下ボタン)

ひとつのメニューから別のメニューに縦方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。

3 調整ボタン(左右ボタン)/音量ボタン

ひとつのメニューから別のメニューに横方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して音量を調整します。

4 ENTER ボタン [ENTER]

ハイライトされたメニュー項目をアクティブにします。

5 SOURCE ボタン [SOURCE]

PC モードからビデオモードに切り替えます。入力信号の変更は、変更時に LCD ディスプレイに接続されている外部デバイスについてのみ行うことができます

[PC] [DVI] [AV] [HDMI] [MagicInfo]

 注意

- TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

6 D.MENU

オンスクリーン D.MENU を開きます。

 注意

- TV チューナー ボックスがインストールされているときに利用できません。

7 電源ボタン [⏻]

このボタンで、LCD ディスプレイの電源のオン/オフを切り替えます。

8 輝度センサー

この製品の輝度センサー機能は、明るさセンサーを使用して自動的に検知した周囲の明るさに合わせて輝度を調整します。

9 電源インジケータ

緑色に点滅して PowerSaver モードであることを示します

 注意

省電力機能の詳細については、このマニュアルの「PowerSaver」を参照してください。消費電力を押さえるために、必要ない場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。

10 リモートカラーセンサー

リモコンを LCD ディスプレイのこの部分に向けます。

## 背面

 注意

ケーブル接続の詳細については、「設定」の「ケーブルの接続」を参照してください。LCD ディスプレイの背面の構成は、LCD ディスプレイのモデルによって若干異なる場合があります。



A



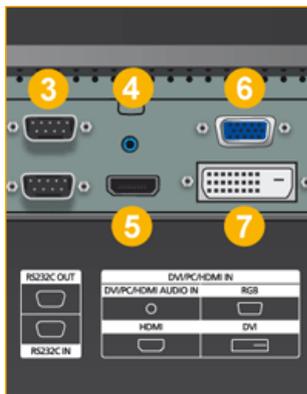
1 POWER S/W ON [ ] / OFF [O]

LCD ディスプレイのオン/オフを切り替えます。

2 POWER IN

LCD ディスプレイと壁のコンセントに電源コードを接続します。

B



3 RS232C OUT/IN (RS232C シリアルポート)

MDC (マルチディスプレイ コントロール) プログラムポート

4 DVI/PC/HDMI IN [DVI/PC/HDMI AUDIO IN] (PC/DVI/HDMI 音声接続端子(入力))

5 DVI/PC/HDMI IN [HDMI]

HDMI ケーブルを使用して、PDP ディスプレイ背面の HDMI 端子をお使いのデジタル出力デバイスの HDMI 端子に接続します。

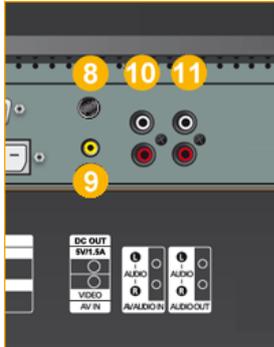
6 DVI/PC/HDMI IN [RGB](PC 映像接続端子)

D-Sub ケーブル (15 ピン D-Sub) を使用 - PC モード (アナログ PC)

7 DVI/PC/HDMI IN [DVI] (PC 映像接続端子)

DVI ケーブル (DVI-D to DVI-D) を使用 - DVI  
モード (デジタル PC)

C



8 DC OUT [5V/1.5A]

これを TV チューナー ボックスまたはネット  
ワーク ボックスの POWER コネクタに接  
続します。

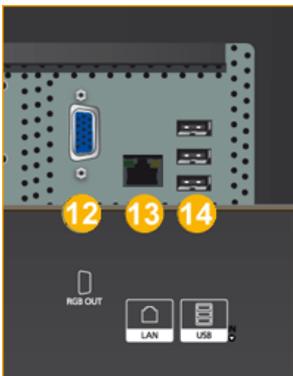
9 AV IN [VIDEO] (VIDEO 接続端子)

ビデオ ケーブルを使用して、モニターの  
[ VIDEO ] 端子を外部デバイスのビデオ出力  
端子に接続します。

10 AV AUDIO IN [L-AUDIO-R] (LCD ディス  
プレイ音声接続端子 (入力))

11 AV AUDIO OUT [L-AUDIO-R] (LCD ディ  
スプレイ音声接続端子 (出力))

D



12 RGB OUT

13 LAN (LAN 接続端子)

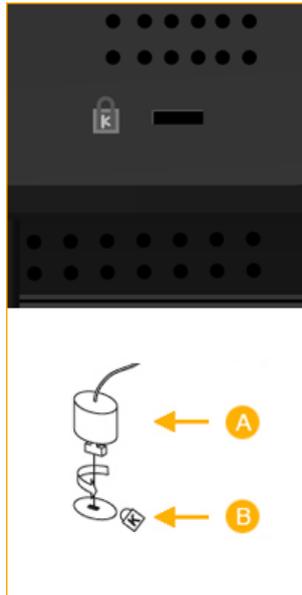
14 USB (USB 接続端子)

キーボード/マウス、マスストレージ機器対  
応。

 注意

ループアウトに接続できる LCD ディスプレ  
イの数は、ケーブルや信号ソースによって  
異なります。劣化のないケーブルまたは信  
号ソースの場合は、10 台までの LCD ディス  
プレイを接続できます。

E



### Kensington Lock

Kensington ロックは、公共の場所で使用するときにシステムを固定するのに使用する装置です。ロック装置は、別途購入する必要があります。メーカーによって、外観および固定方法が図とは異なる場合があります。Kensington ロックに付属するマニュアルを参照して、適切に使用してください。ロック装置は、別途購入する必要があります。

#### 注意

Kensington ロックの位置は、モデルによって異なる場合があります。

### 盗難防止用 Kensington ロック

1. モニターのケンジントン スロット **B** にロック装置を挿入し、固定位置 **A** に回します。
2. Kensington ロック ケーブルを接続します。
3. Kensington ロックをデスクまたは重量のある固定された物体に固定します。

#### 注意

ケーブル接続の詳細については、「ケーブルの接続」を参照してください。

### リモートコントロール

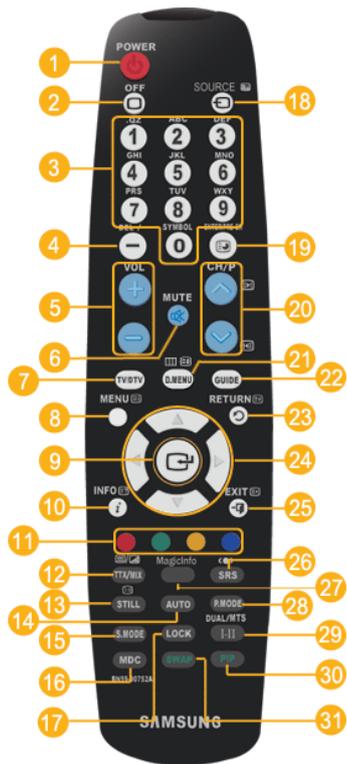
#### 注意

リモコンの動作は TV またはその他 LCD ディスプレイ付近で動作している電子機器の影響を受ける場合があります、周波数の干渉によって誤作動することがあります。

#### 注意

TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

## はじめに



- 1 POWER
- 2 OFF
- 3 Number Buttons
- 4 DEL ボタン
- 5 + VOL -
- 6 MUTE
- 7 TV/DTV
- 8 MENU
- 9 RETURN
- 10 INFO
- 11 COLOR ボタン
- 12 TTX/MIX
- 13 STILL
- 14 AUTO
- 15 S.MODE
- 16 MDC
- 17 LOCK
- 18 SOURCE
- 19 ENTER/PRE-CH
- 20 CH/P ▲
- 21 D.MENU
- 22 GUIDE
- 23 RETURN
- 24 上下左右ボタン
- 25 EXIT
- 26 SRS
- 27 MagicInfo
- 28 P.MODE
- 29 DUAL/MTS
- 30 PIP
- 31 SWAP

1. POWER
2. Off
3. Number Buttons

- 製品をオンにします。
- 製品をオフにします。
- 押してチャンネルを変更します。

4. DEL  ボタン  
[-] ボタンはDTVでのみ動作します。DTVでMMS(マルチチャンネル)を選択する場合に使用します。
5. + VOL -  
音声の音量を調整します。
6.  MUTE  
音声の出力を一時的に停止(ミュート)します。これは画面の左下隅に表示されます。消音モードでMUTEまたは-VOL+が押されると、音声は再度聞こえるようになります。
7. TV/DTV  
TVおよびDTVモードを直接選択します。
8. MENU  
オンスクリーンメニューを開いたり、メニューを終了したり、調整メニューを閉じたりします。
9.   
ハイライトされたメニュー項目をアクティブにします。
10.  INFO  
画面左上に現在の画像情報が表示されます。
11. COLOR BUTTONS  
押すとチャンネルを追加または削除し、チャンネルを[チャンネルリスト]メニューのお気に入りのチャンネルリストに格納します。
12.  TTX/MIX  
TVチャンネルは、テレテキスト経由で文字情報サービスを提供します。  
  
- テレテキスト ボタン  
        
13. STILL  
画面を停止するにはボタンを1回押します。停止を解除するにはもう1度押します。
14. AUTO  
PCモードでの画面表示を自動的に調整します。コントロールパネルで解像度を変更すると、自動機能が実行されず。
15. S.MODE  
このボタンを押すと、現在のモードが画面の中央下に表示されます。LCDディスプレイには、Hi-Fiステレオアンプが内蔵されています。続いてボタンをもう1度押して、設定を順に切り替えます。(標準 音楽 映画 ニュース ユーザー調整)
16. MDC  
MDCクイック起動ボタン
17. LOCK  
リモコンおよびLCDディスプレイ双方のPowerおよびLOCKボタンを除くファンクションキーすべてを有効または無効にします。
18.  SOURCE  
ボタンを押して、入力信号SOURCEを切り換えます。  
  
SOURCEの変更は、変更時にモニターに接続されている外部デバイスについてのみ行うことができます
19.  ENTER/PRE-CH  
このボタンを使用して、前のチャンネルに直ちにに戻ります。
20.  VCH/PA  
TVモードで、TVのチャンネルを選択します。

- 21.D.MENU DTV メニュー表示
- 22.GUIDE 電子番組ガイド (EPG) 表示
23.  RETURN 前のメニューに戻ります。
24. 上下左右ボタン ひとつのメニューから別のメニューに横、縦方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。
25.  EXIT メニュー画面を終了します。
26.  SRS SRS TruSurround XT モードを選択します。
- 27.MagicInfo MagicInfo クイック起動ボタン
28. P.MODE このボタンを押すと、現在のピクチャー モードが画面の中央下に表示されます。

*AV / HDMI / TV : P.MODE*

LCD ディスプレイには、工場出荷時に 4 種類の自動画像設定が行われています。ボタンをもう 1 度押して、設定を順に切り替えます。(ダイナミック 標準 映画 ユーザー調整)

*PC / DVI / MagicInfo:M/B (MagicBright)*

**MagicBright** は、表示している画像の内容に合わせて最適な表示環境を提供するための機能です。ボタンをもう 1 度押して、設定を順に切り替えます。(エンターテイメント インターネット テキスト ユーザー調整)

29.  DUAL/MTS

*DUAL-*

STEREO/MONO、DUAL I / DUAL II および MONO/NICAM MONO/NICAM STEREO は、放送のタイプに応じて TV の視聴中にリモコンの DUAL ボタンで操作することができます。

*MTS-*

MTS (マルチチャンネル テレビ ステレオ) モードを選択できます。

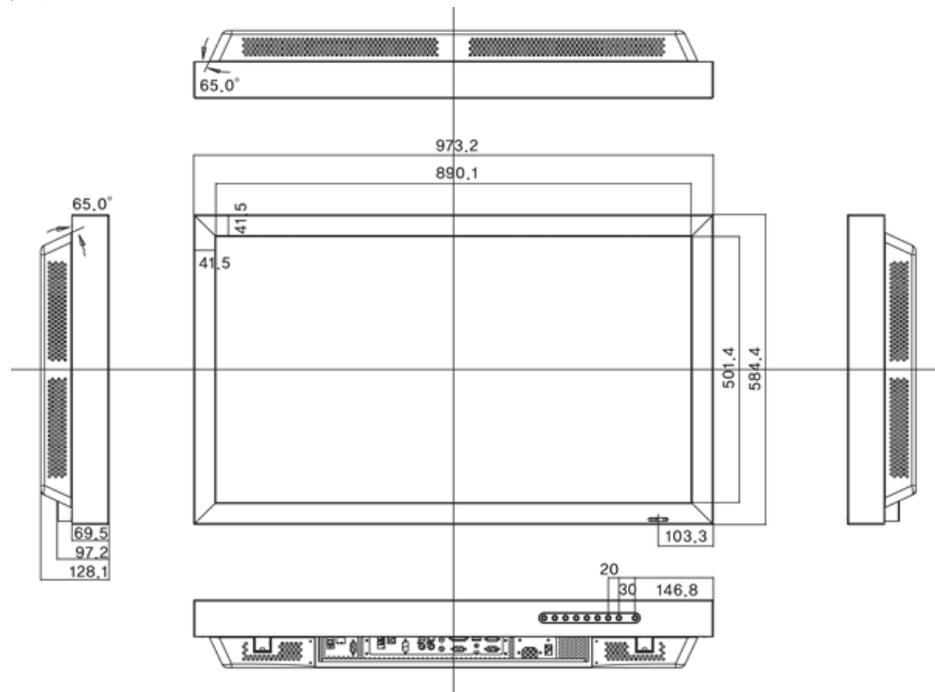
	音声タイプ	MTS/S_Mode	デフォルト
FM ステレオ	モノラル	モノラル	手動変更
	ステレオ	モノラル ステレオ	
	SAP	モノラル SAP	モノラル

30. PIP ボタンを押すたびに PIP 画面が表示されます。  
- この機能はこの LCD ディスプレイでは動作しません。
- 31..SWAP PIP ウィンドウの画像と主画面の画像を入れ替えます。PIP ウィンドウの画像がメイン画面に表示され、メイン画面の画像が PIP ウィンドウに表示されます。

- この機能はこの LCD ディスプレイでは動作しません。

## 物理的レイアウト (400TSn)

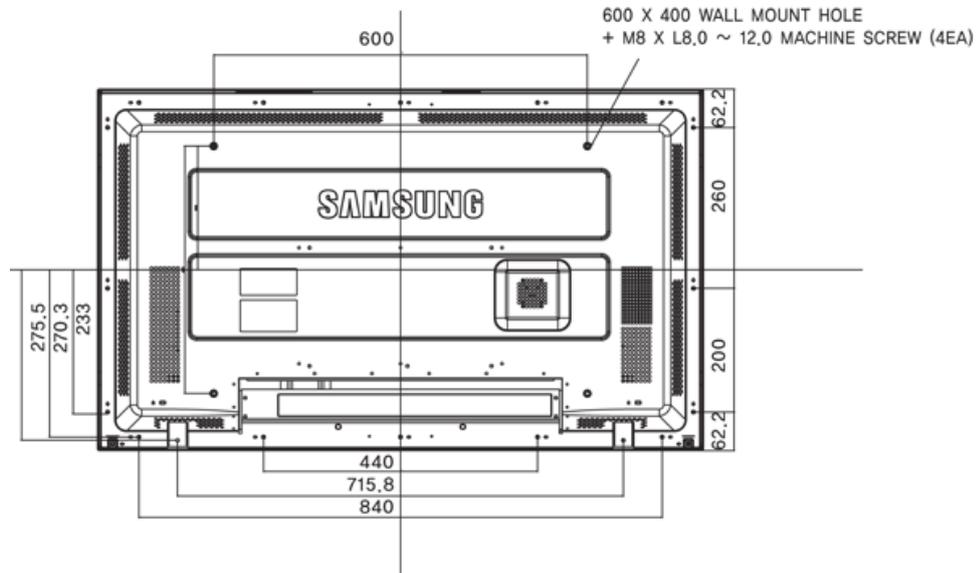
### 物理的レイアウト



### オプションスタンド (別売品)

- VESA を取り付けるときには、国際 VESA 規格に準拠してください。
- VESA ブラケットの購入と設置についての情報:お近くの SAMSUNG 販売店にご注文ください。ご注文後、取り付け担当がお伺いし、ブラケットの取り付けを行います。
- LCD ディスプレイを運搬するには、少なくとも2名の人員が必要です。
- SAMSUNG は、お客様による取り付けによって発生した損害および負傷について、責任を負うものではありません。

## 寸法



**注意**

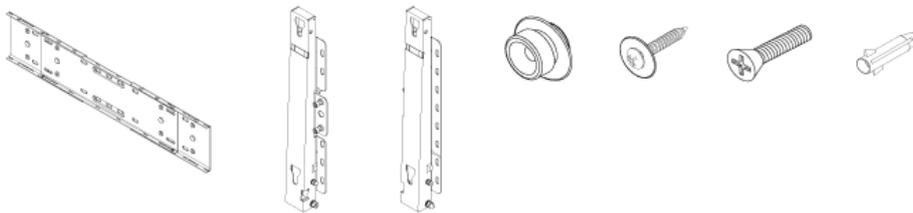
ブラケットを壁に固定するには、6 mm 径で長さ 8 ~ 12 mm のネジだけを使用するようにしてください。

## ウォールブラケットの取り付け

- ウォールブラケットの取り付けについては、技術者にご相談ください。
- お客様が自ら取り付けを行った場合には、SAMSUNG Electronics は製品の損傷およびお客様の傷害について責任を負いかねます。
- この製品は、セメント製の壁に設置するためのものです。この製品は、合板または木製の壁に取り付けることはできません。

## 部品

製品に付属している部品およびアクセサリのみを使用してください。



ウォール ブラケット ヒンジ (左 1、右 1) プラスチ ネジ (A) ネジ (B) アンカ  
(1) ック 八 (11) (4) ー (11)  
ン ガ ー  
(4)

## ウォールブラケットアセンブリ



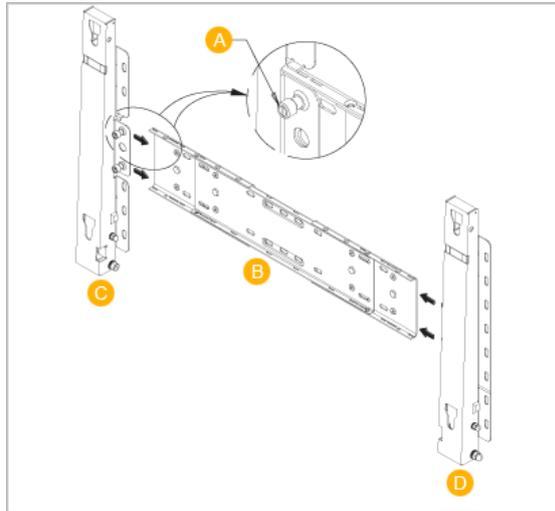
**注意**

ヒンジは 2 個 (左用または右用) あります。該当する方を使用してください。

## はじめに

1. 固定ネジを矢印の向きに挿入して固定します。

固定したら、ウォールブラケットを壁に取り付けます。

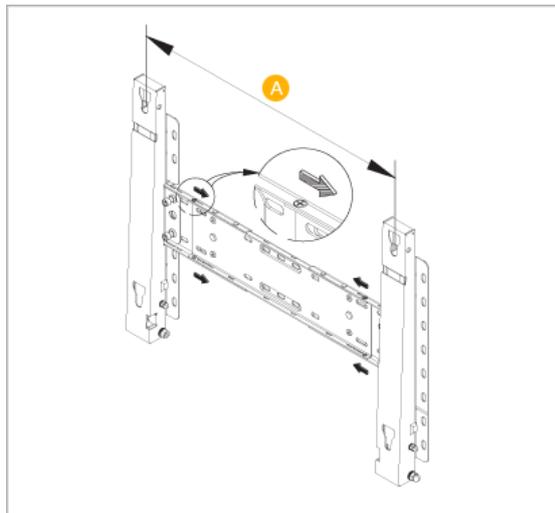


ヒンジは2個（左用または右用）あります。該当する方を使用してください。

- A - 固定ネジ
- B - ウォールブラケット
- C - ヒンジ (左)
- D - ヒンジ (右)

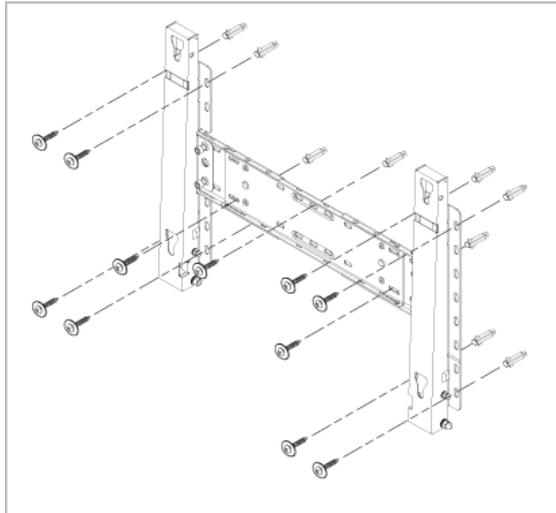
2. 壁にドリルで穴を開ける前に、製品の背面にある2カ所の固定穴が適切な間隔になっていることを確認してください。

長さが短い、または長い場合には、ウォールブラケットの4本のネジを緩めて調整を行います。



- A - 2カ所の固定穴の間隔

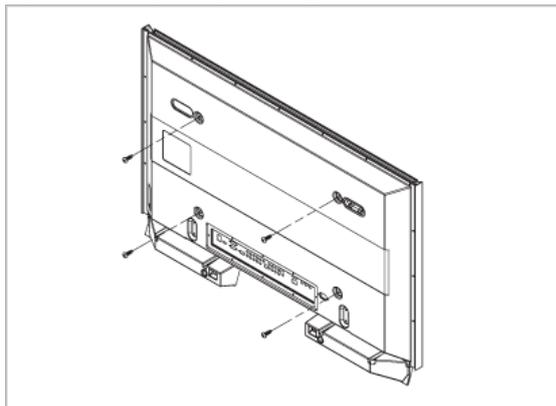
3. 取り付け図を見て、壁にドリルで穴を開ける位置に印を付けます。5.0 mm のビットを使用して、35 mm より深い穴を開けます。各アンカーを対応する穴に固定します。ブラケットとヒンジの穴をそれぞれ該当するアンカー穴に合わせ、挿入して11本のネジ(A)で固定します。



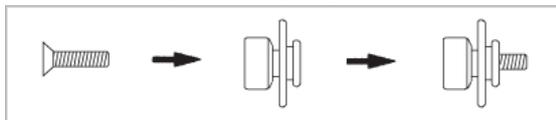
### ウォール ブラケットに製品を取り付けるには

製品の形状はモデルによって異なります。(プラスチックハンガーおよびネジは同じです)

1. 製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。

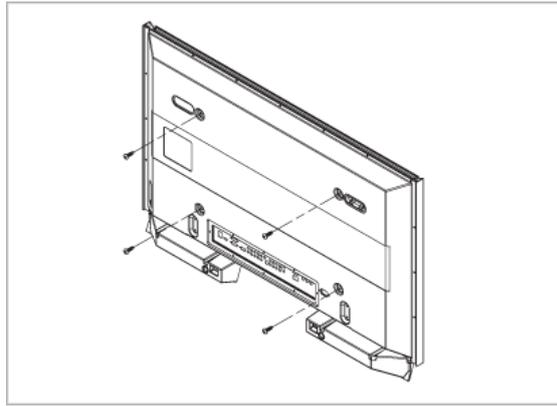


2. ネジ (B) をプラスチックハンガーに挿入します。

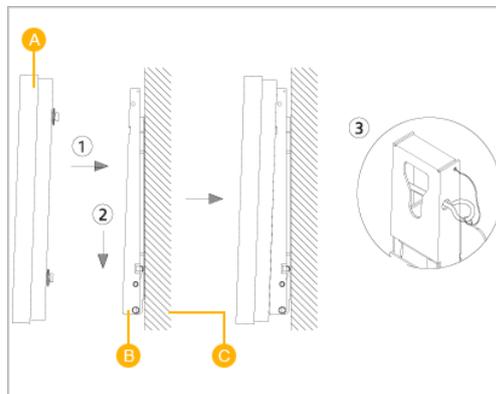


 **注意**

- ウォールブラケットに製品を取り付けたら、左右のプラスチックハンガーに正しく固定されていることを確認してください。
  - 製品をブラケットに取り付けるときには、穴に指が挟まれないように注意してください。
  - ウォールブラケットが壁にしっかりと固定されていることを確認してください。取り付け後に製品が動いてしまうことがあります。
3. 手順 2 で取り付けした 4 本のネジ (プラスチックハンガー + ネジ (B)) を、製品の背面の穴に固定します。



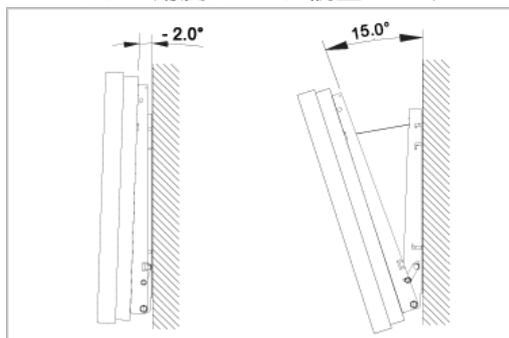
4. 安全ピン (3) を取り外して4個の製品ホルダーを対応するブラケットホール(1)に挿入します。続いて、製品(2)をブラケットにしっかりと固定されるように配置します。安全ピン(3)をしっかりと最挿入して締め付け、製品をブラケットに固定します。



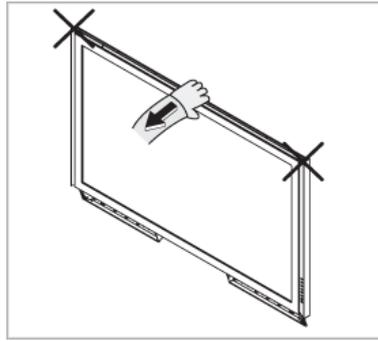
- A - LCDディスプレイ
- B - ウォールブラケット
- C - 壁

### ウォールブラケットの角度調整

壁に取り付ける前に、ブラケットの角度を $-2^{\circ}$ に調整してください。



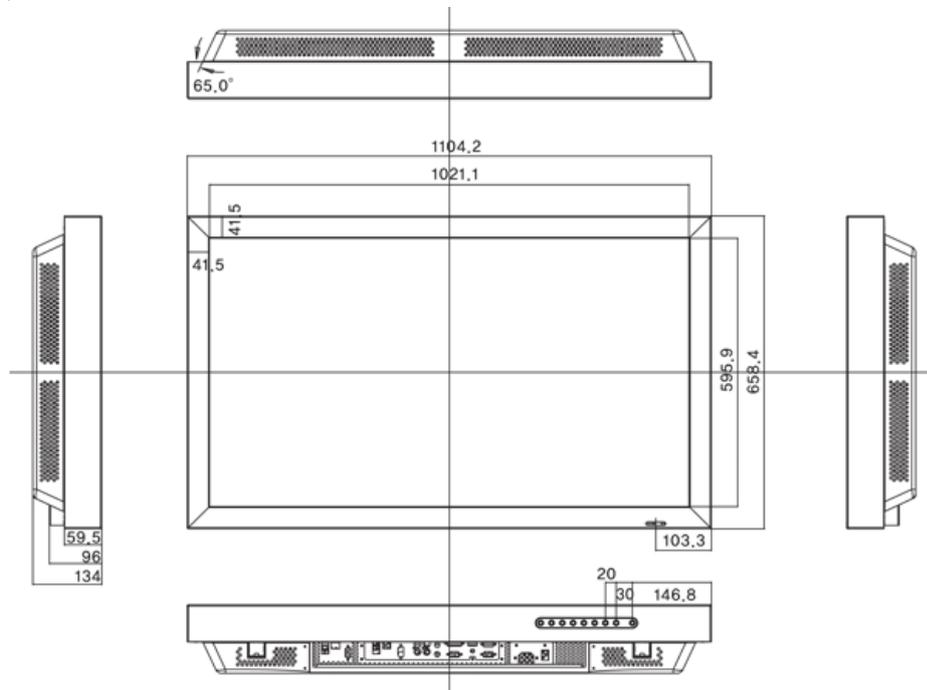
1. 製品をウォールブラケットに固定します。
2. 製品の上部中央を持ち、前(矢印の方向)に引っ張って角度を調整します。
3. ブラケットの角度は $-2^{\circ}$ ~ $15^{\circ}$ の範囲で調整できます。



角度を調整する際に、製品の側面を持たないようにしてください。必ず製品の上部中央を持ってください。

## 物理的レイアウト (460TSn)

### 物理的レイアウト

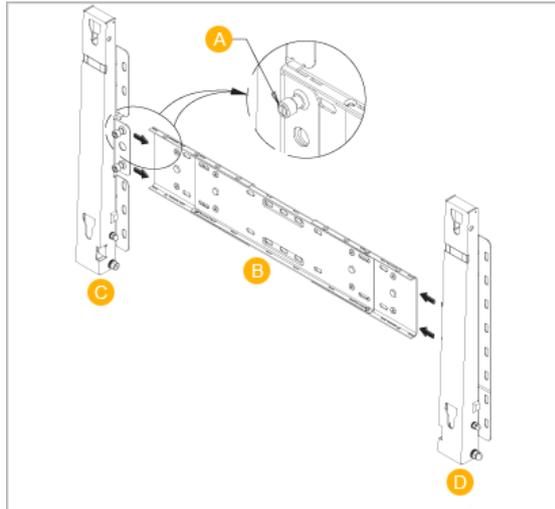


## オプションスタンド (別売品)

- VESA を取り付けるときには、国際 VESA 規格に準拠してください。
- VESA ブラケットの購入と設置についての情報:お近くの SAMSUNG 販売店にご注文ください。ご注文後、取り付け担当がお伺いし、ブラケットの取り付けを行います。
- LCD ディスプレイを運搬するには、少なくとも2名の人員が必要です。
- SAMSUNG は、お客様による取り付けによって発生した損害および負傷について、責任を負うものではありません。



## はじめに

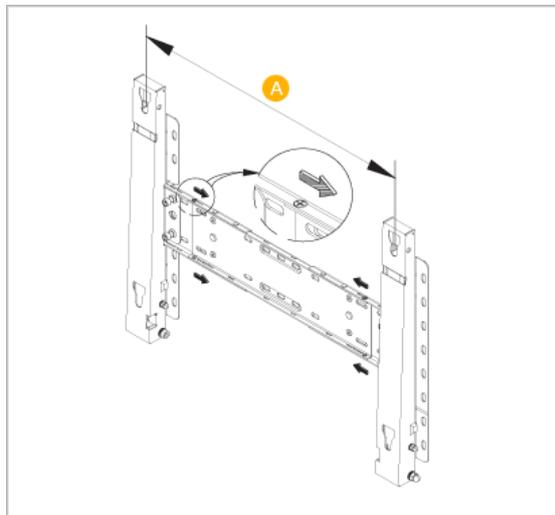


ヒンジは2個（左用または右用）あります。該当する方を使用してください。

- A - 固定ネジ
- B - ウォールブラケット
- C - ヒンジ (左)
- D - ヒンジ (右)

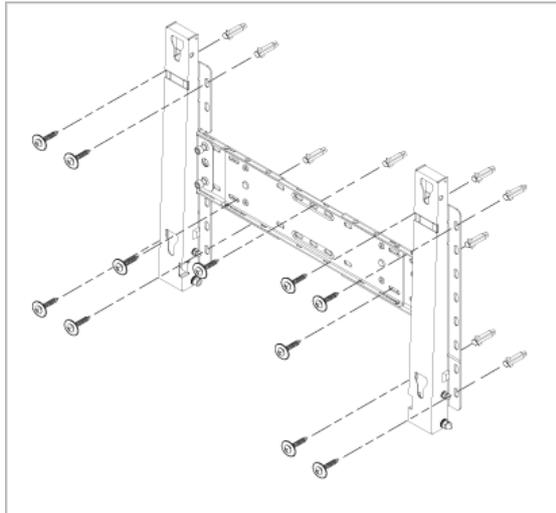
2. 壁にドリルで穴を開ける前に、製品の背面にある2カ所の固定穴が適切な間隔になっていることを確認してください。

長さが短い、または長い場合には、ウォールブラケットの4本のネジを緩めて調整を行います。



- A - 2カ所の固定穴の間隔

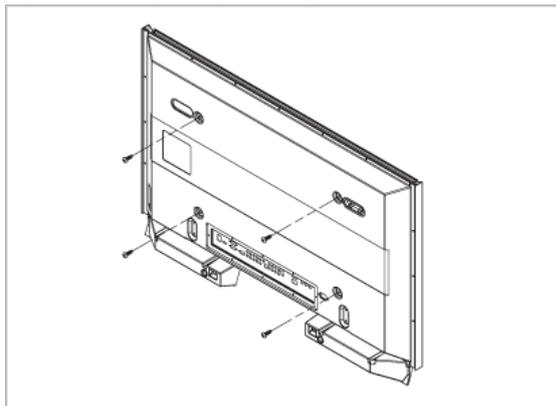
3. 取り付け図を見て、壁にドリルで穴を開ける位置に印を付けます。5.0 mm のビットを使用して、35 mm より深い穴を開けます。各アンカーを対応する穴に固定します。ブラケットとヒンジの穴をそれぞれ該当するアンカー穴に合わせ、挿入して11本のネジ(A)で固定します。



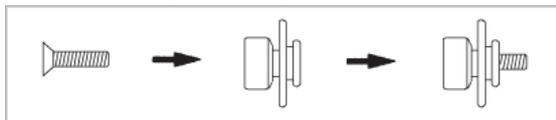
### ウォール ブラケットに製品を取り付けるには

製品の形状はモデルによって異なります。(プラスチックハンガーおよびネジは同じです)

1. 製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。

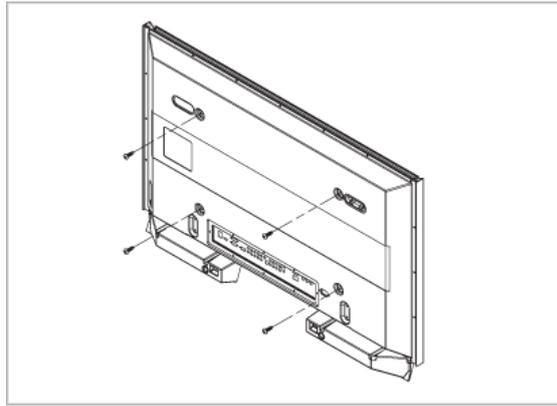


2. ネジ (B) をプラスチックハンガーに挿入します。

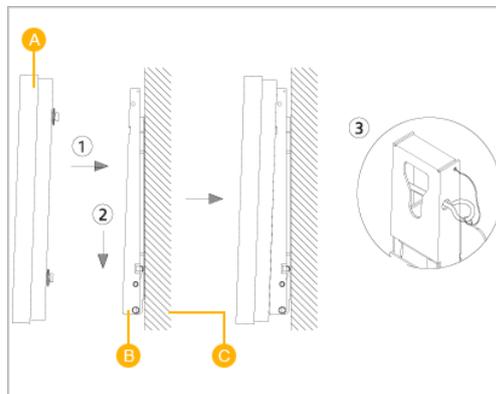


#### 注意

- ウォールブラケットに製品を取り付けたら、左右のプラスチックハンガーに正しく固定されていることを確認してください。
  - 製品をブラケットに取り付けるときには、穴に指が挟まれないように注意してください。
  - ウォールブラケットが壁にしっかりと固定されていることを確認してください。取り付け後に製品が動いてしまうことがあります。
3. 手順 2 で取り付けした 4 本のネジ (プラスチックハンガー + ネジ (B)) を、製品の背面の穴に固定します。



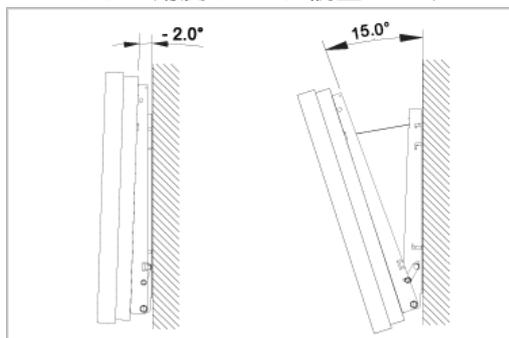
4. 安全ピン (3) を取り外して4個の製品ホルダーを対応するブラケットホール(1)に挿入します。続いて、製品(2)をブラケットにしっかりと固定されるように配置します。安全ピン(3)をしっかりと最挿入して締め付け、製品をブラケットに固定します。



- A - LCD ディスプレイ
- B - ウォールブラケット
- C - 壁

### ウォール ブラケットの角度調整

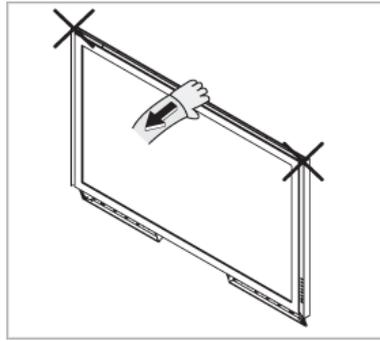
壁に取り付ける前に、ブラケットの角度を  $-2^{\circ}$  に調整してください。



1. 製品をウォールブラケットに固定します。
2. 製品の上部中央を持ち、前(矢印の方向)に引っ張って角度を調整します。
3. ブラケットの角度は  $-2^{\circ}$  ~  $15^{\circ}$  の範囲で調整できます。

## はじめに

---



角度を調整する際に、製品の側面を持たないようにしてください。必ず製品の上部中央を持ってください。

# 接続

## コンピュータの接続



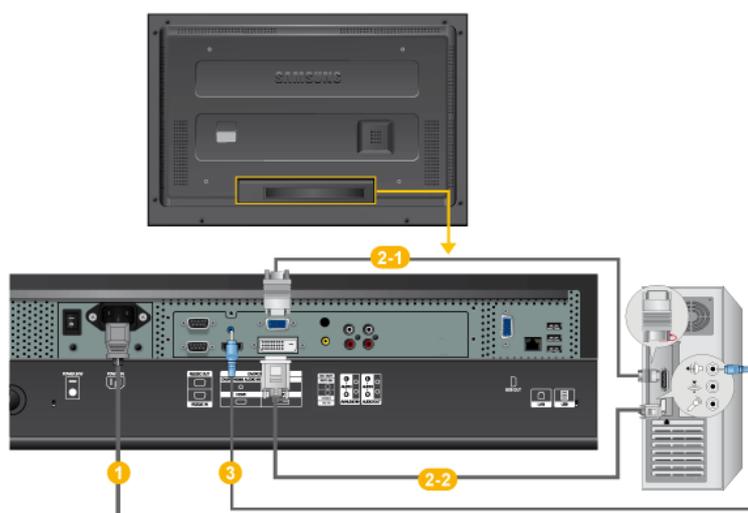
### アース線のある電源コードの使用

- 故障時には、アース線が原因で感電する場合があります。AC 電源を接続する前に、アース線が正しく配線されていることを確認します。アース線ははずすときには、前もって AC 電源アダプタを抜いてください。



### 注意

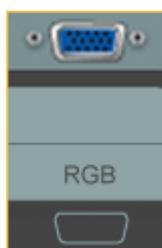
お使いのコンピュータだけでなく、DVD プレイヤー、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を LCD ディスプレイに接続することができます。AV 入力デバイスの接続の詳細については、「LCD ディスプレイの調整」の内容を参照してください。



- LCD ディスプレイの電源コードを LCD ディスプレイ背面の電源ポートに接続します。電源スイッチをオンにします。
- D-sub を LCD モニターに接続するには 2 つの方法があります。以下のいずれかを選択します。

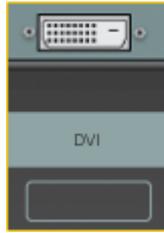
#### 2-1 ビデオカードの D-sub (アナログ) コネクタを使用します。

- D-sub は、LCD ディスプレイ背面の 15-pin の RGB ポートとコンピュータの 15-pin D-sub ポートを接続します。



#### 2-2 ビデオカードの DVI (デジタル) コネクタを使用します。

- DVI ケーブルは、LCD ディスプレイ背面の DVI ポートとコンピュータの DVI ポートを接続します。



- 3 お使いの LCD ディスプレイのオーディオ ケーブルを、コンピュータ背面のオーディオ ポートに接続します。



注意

- コンピュータと LCD ディスプレイの電源を入れます。
- DVI ケーブルはオプションです。
- オプション品の購入については、SAMSUNG のお近くの販売店にお問い合わせください。

## 他のデバイスへの接続



### アース線のある電源コードの使用

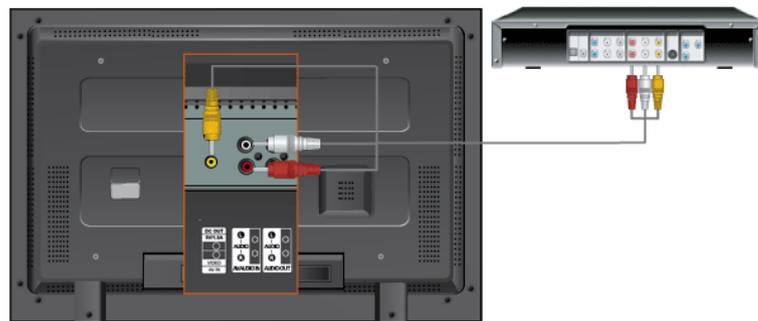
- 故障時には、アース線が原因で感電する場合があります。AC 電源を接続する前に、アース線が正しく配線されていることを確認します。アース線ははずすときには、前もって AC 電源アダプタを抜いてください。



注意

お使いのコンピュータだけでなく、DVD プレイヤー、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を LCD ディスプレイに接続することができます。AV 入力デバイスの接続の詳細については、「LCD ディスプレイの調整」の内容を参照してください。

## AV デバイスの接続



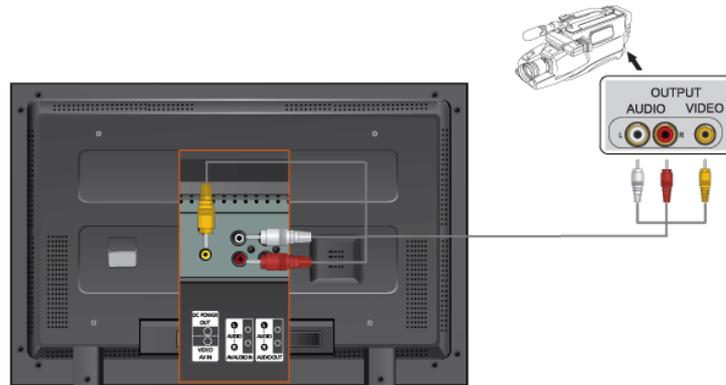
1. DVD、VCR (DVD / DTV セットトップ ボックス) を LCD ディスプレイの [R-AUDIO-L] ポートに接続します。
2. 次に、DVD またはテープを挿入して、DVD、VCR、またはカムコーダーをスタートさせます。
3. SOURCE を使用して AV を選択します。



注意

LCD ディスプレイには、DVD、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を接続するための AV 接続端子があります。LCD ディスプレイがオンになっていれば、AV 信号の映像を楽しむことができます。

## カムコーダーへの接続



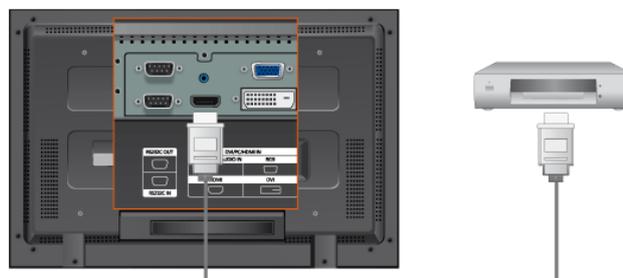
1. カムコーダーの AV 出力ジャックの場所を確認します。通常は、カムコーダーの側面または背面にあります。オーディオ ケーブルをカムコーダーの AUDIO OUTPUT ジャックと LCD ディスプレイの AV AUDIO IN [L-AUDIO-R] に接続します。
2. カムコーダーの VIDEO OUTPUT ジャックと LCD ディスプレイの AV IN [VIDEO] をビデオケーブルで接続します。
3. カムコーダーを接続するには、PDP ディスプレイの前面またはリモコンの Source ボタンを使用して、AV を選択します。
4. 続いて、テープを挿入したカムコーダーをスタートします。



注意

ここに示した音声ビデオケーブルは、通常カムコーダーに付属しています。(付属していない場合には、お近くの電器店でご購入ください)カムコーダーがステレオの場合には、2本のケーブルを接続する必要があります。

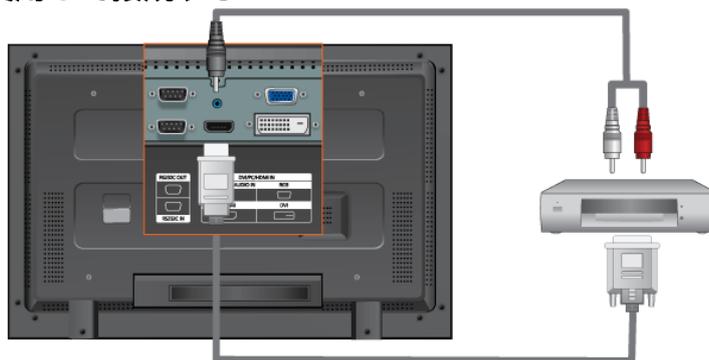
## HDMI ケーブルを使用して接続する



注意

- HDMI ケーブルを使用して、デジタル DVD などの装置を LCD ディスプレイの HDMI 端子に接続します。
- PC を HDMI 端子に接続することはできません。

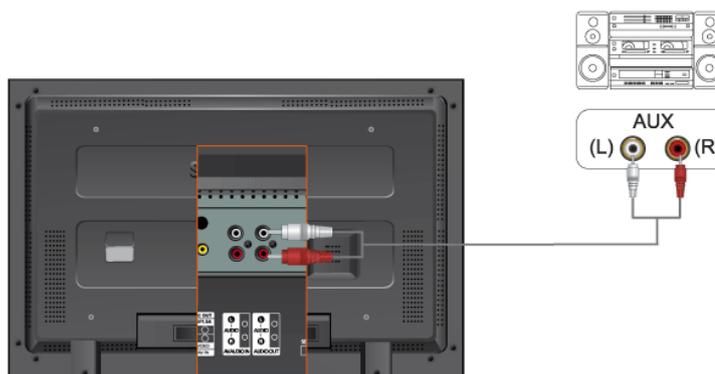
## DVI - HDMI ケーブルを使用して接続する



注意

- デジタル出力デバイスの DVI 出力端子を DVI - HDMI ケーブルを使用して、LCD ディスプレイの HDMI 端子に接続します。
- RCA - ステレオ (PC 用) ケーブルの赤および白のジャックをデジタル出力デバイスの同じ色の音声出力端子に接続し、反対側のジャックを LCD ディスプレイの DVI/PC/HDMI AUDIO IN 端子に接続します。

## オーディオ システムへの接続



注意

- オーディオ システムの AUX L、R ジャックと LCD ディスプレイの AUDIO OUT [L-AUDIO-R] をオーディオ ケーブルで接続します。

## LAN ケーブルの接続



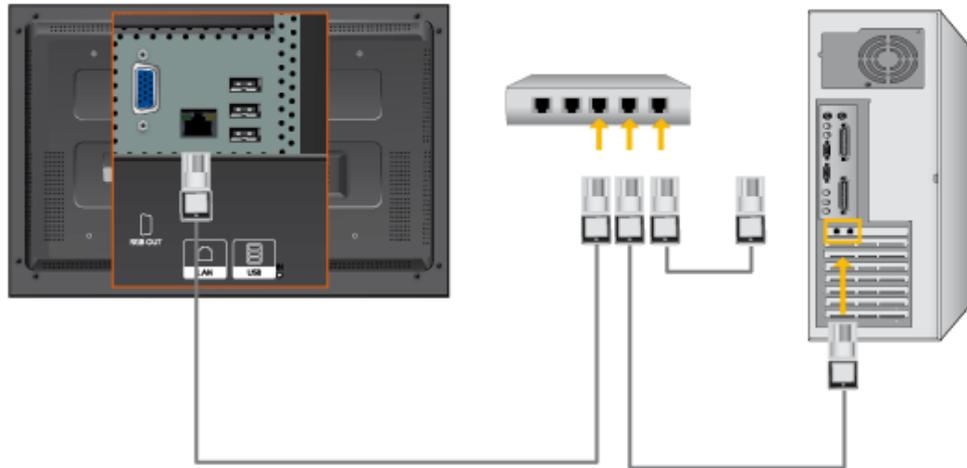
### アース線のある電源コードの使用

- 故障時には、アース線が原因で感電する場合があります。AC 電源を接続する前に、アース線が正しく配線されていることを確認します。アース線ははずすときには、前もって AC 電源アダプタを抜いてください。



注意

お使いのコンピュータだけでなく、DVD プレイヤー、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を LCD ディスプレイに接続することができます。AV 入力デバイスの接続の詳細については、「LCD ディスプレイの調整」の内容を参照してください。



注意

LAN ケーブルを接続します。

## USB デバイスの接続



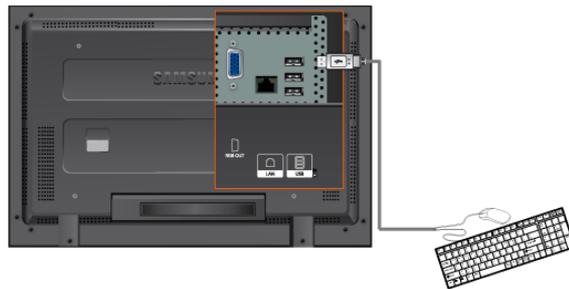
### アース線のある電源コードの使用

- 故障時には、アース線が原因で感電する場合があります。AC 電源を接続する前に、アース線が正しく配線されていることを確認します。アース線はずすときには、前もって AC 電源アダプタを抜いてください。



注意

お使いのコンピュータだけでなく、DVD プレイヤー、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を LCD ディスプレイに接続することができます。AV 入力デバイスの接続の詳細については、「LCD ディスプレイの調整」の内容を参照してください。



注意

マウスやキーボードなどの USB 機器を接続することができます。

# ソフトウェアの使用

## モニター ドライバ



オペレーティング システムがモニター ドライバを要求したときには、このモニターに付属する CD-ROM を挿入します。インストール方法は OS によって多少異なります。お使いの OS をご確認のうえ、それぞれのインストール方法に従ってください。

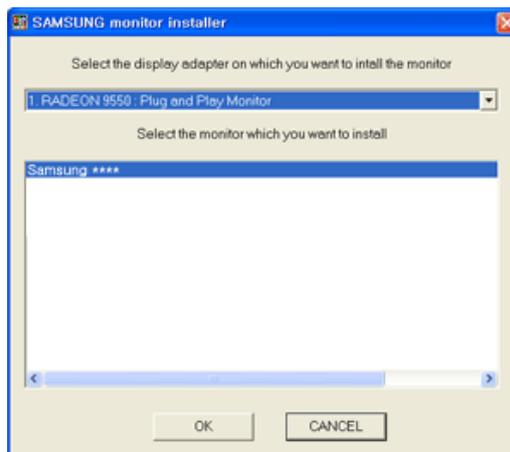
空のディスクを用意して、以下に示すインターネット Web サイトのドライバプログラム ファイルをダウンロードします。

インターネット Web サイト:

<http://www.samsung.com/> (Worldwide)

## モニター ドライバのインストール (自動)

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [Windows] をクリックします。
3. モデル一覧でお使いのモニターのモデルを選択し、["OK" (OK)] をクリックします。



4. 以下のメッセージが表示される場合には、["Continue Anyway" (続行)] ボタンをクリックします。続いて ["OK" (OK)] ボタン (Microsoft® Windows® XP/2000 オペレーティングシステム) をクリックします。





注意

このモニター ドライバーは MS ロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

<http://www.samsung.com/>

## モニター ドライバのインストール (手動)

Microsoft® Windows Vista™、オペレーティング システム

1. マニュアル CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [スタート] (スタート ボタン) をクリックし、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。次に、["Appearance and Personalization" (デスクトップのカスタマイズ)] をダブルクリックします。



3. ["Personalization" (個人設定)]、続いて ["Display Settings" (画面の設定)] をクリックします。



4. ["Advanced Settings..." (詳細設定...)] をクリックします。



5. ["Monitor" (モニタ)] タブで ["Properties" (プロパティ)] をクリックします。["Properties" (プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、モニターの設定が完了していないことを示しています。そのままでも、モニターを使用することは可能です。

下の図に示すように ["Windows needs..." (Windows の設定が必要です...)] というメッセージが表示された場合には、["Continue" (続行)] をクリックします。

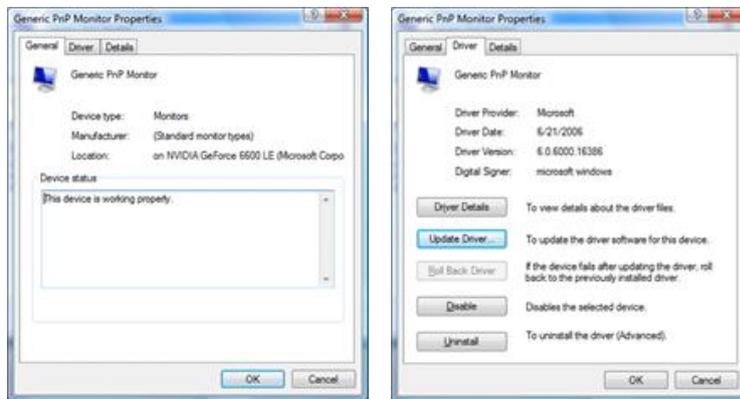


 **注意**

このモニタードライバーは MS ロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

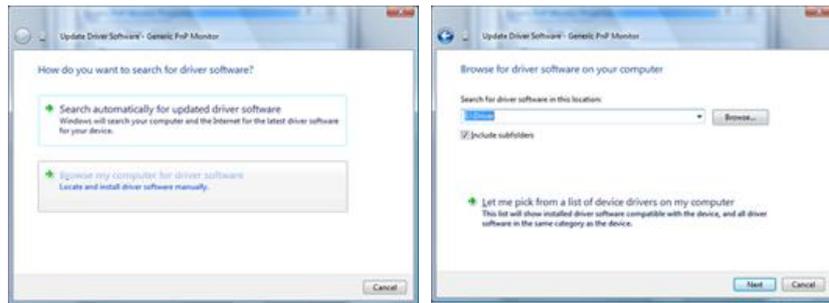
承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

6. ["Update Driver..." (ドライバのアップデート...)] タブで ["Driver" (ドライバ)] をクリックします。

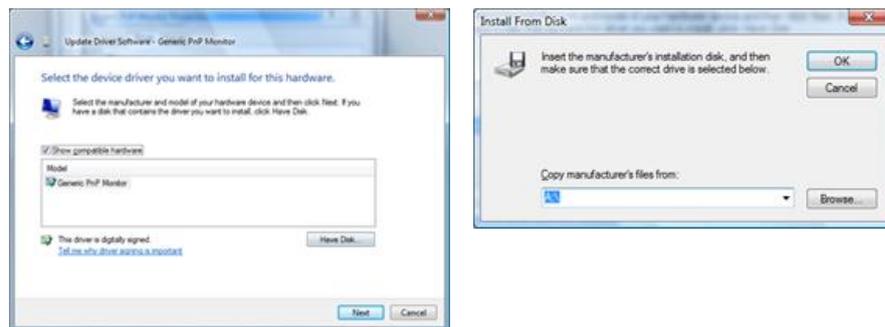


7. ["Browse my computer for driver software" (コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します)] チェックボックスをチェックして、["Let me pick from a list of device drivers on my computer" (コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択します)] をクリックします。

## ソフトウェアの使用



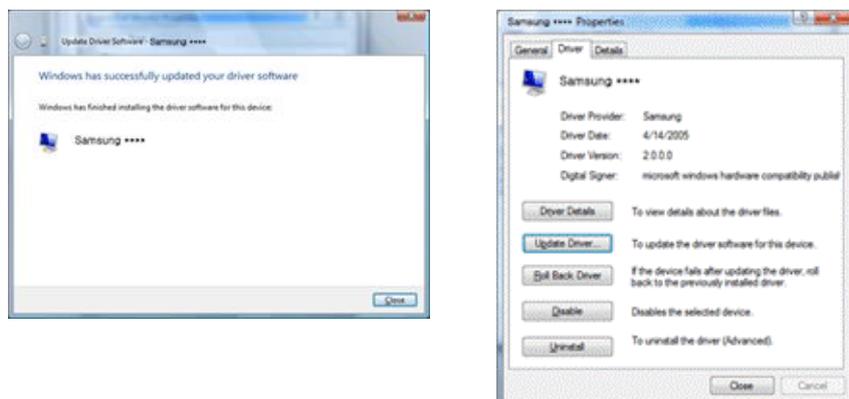
8. ["Have Disk..." (ディスク使用)] をクリックして、ドライバセットアップファイルのあるフォルダ (たとえば D:\Drive) を選択し、[OK] をクリックします。

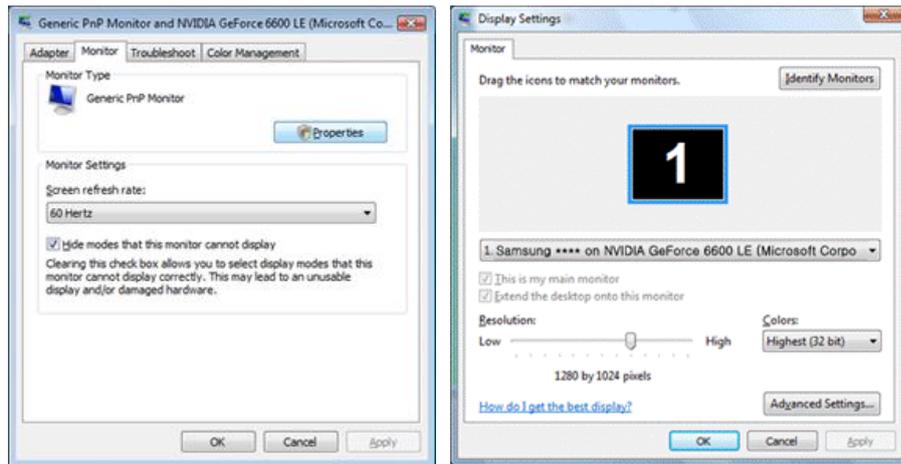


9. 画面上のリストからお使いのモニターモデルに一致するモデルを選択し、["Next" (次へ)] をクリックします。



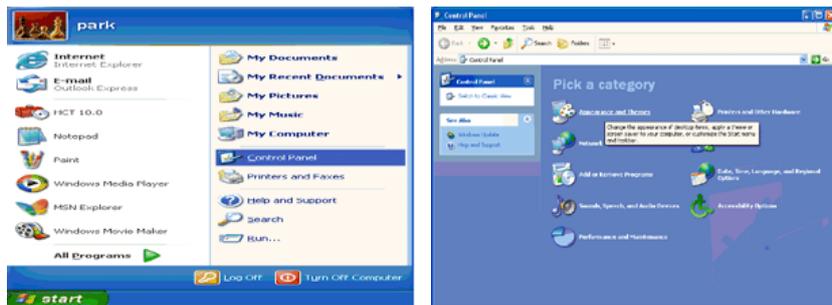
10. 続いて表示される画面で、["Close" (閉じる)] ["Close" (閉じる)] ["OK" (OK)] ["OK" (OK)] をクリックします。



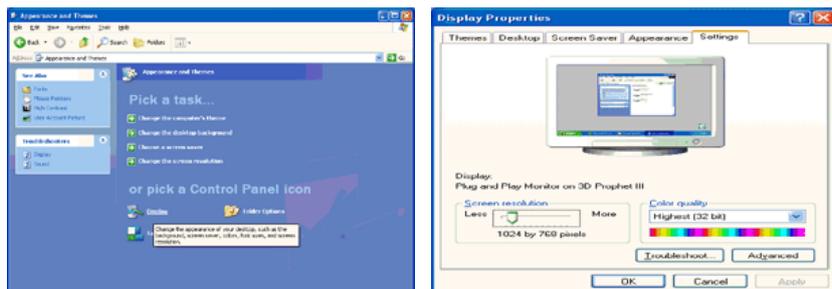


Microsoft® Windows® XP オペレーティング システム

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ["Start" (スタート)] ["Control Panel" (コントロールパネル)] をクリックし、["Appearance and Themes" (デスクトップの表示とテーマ)] アイコンをクリックします。



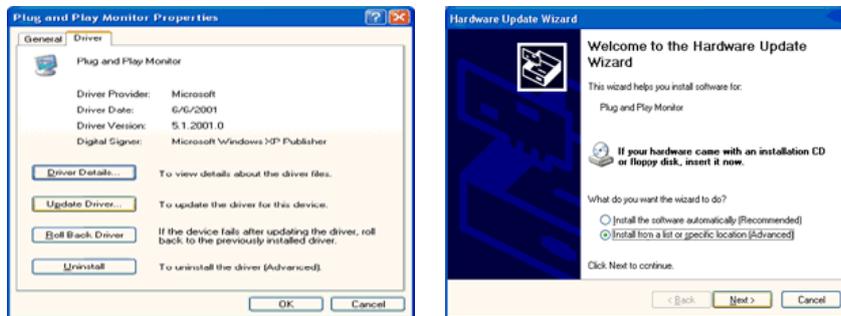
3. ["Display" (画面)] アイコンをクリックして ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced..." (詳細設定)] をクリックします。



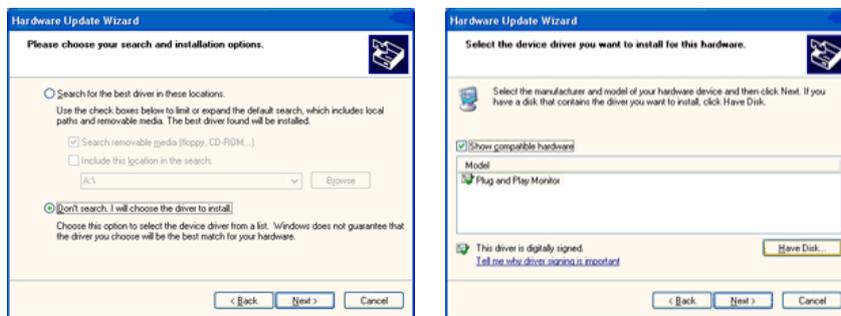
4. ["Monitor" (モニター)] タブで ["Properties" (プロパティ)] ボタンをクリックし、["Driver" (ドライバ)] タブを選択します。



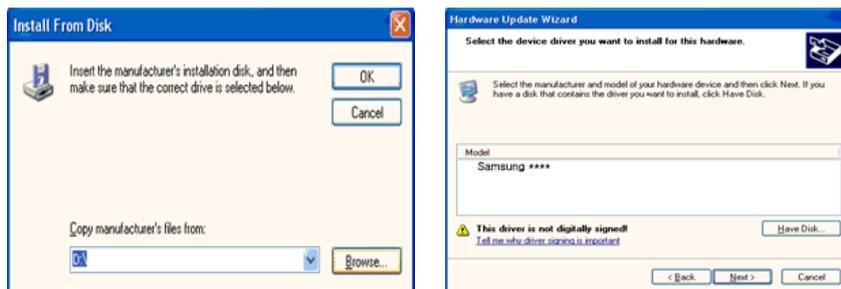
5. ["Update Driver..." (ドライバの更新...)] をクリックして、["Install from a list or..." (一覧または特定の場所からインストールする)] を選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。



6. ["Don't search, I will..." (検索しないで、インストールするドライバを選択する)] を選択して [Next (次へ)] をクリックし、["Have disk" (ディスク使用)] をクリックします。



7. ["Browse" (参照)] ボタンをクリックしてから A:(D:\Driver) を選択し、モデル一覧からお使いのモデルを選択して、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。



8. 以下のメッセージが表示される場合には、["Continue Anyway" (続行)] ボタンをクリックします。続いて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。



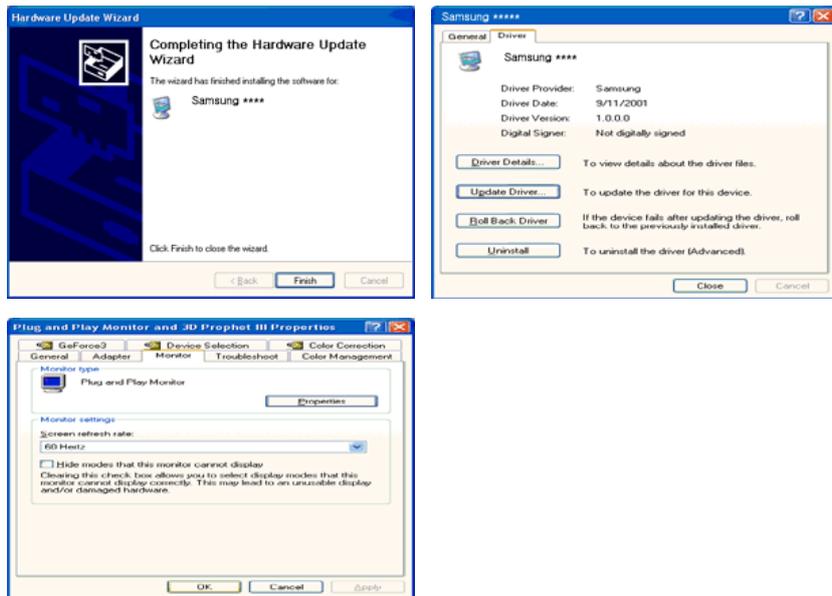
注意

このモニター ドライバーは MS ロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

<http://www.samsung.com/>

9. ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックし、続けて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。



10. モニター ドライバのインストールが完了します。

Microsoft® Windows® 2000 オペレーティング システム

モニター上に["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] と表示された場合は、以下の手順を行います。

1. ["Insert disk" (ディスク挿入)] ウィンドウで ["OK" (OK)] ボタンを選択します。
2. ["File Needed" (必要なファイル)] ウィンドウで ["Browse" (参照)] ボタンをクリックします。
3. A:(D:\Driver) を参照してから ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続いて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。

インストール方法

1. ["Start" (スタート)], ["Setting" (設定)], ["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
4. ["Monitor" (モニタ)] を選択します。

ケース 1: ["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効でない場合には、モニターが適切に設定されていることを意味します。インストールを中止してください。

ケース 2: ["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効になっている場合には、["Properties" (プロパティ)] ボタンをクリックして次の手順に進みます。

5. ["Driver" (ドライバ)] をクリックし、続いて ["Update Driver..." (ドライバの更新...)] をクリックして ["Next" (次へ)] をクリックします。
6. ["Display a list of the known drivers for this device so that I can choose a specific driver" (このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する)] を選択して ["Next" (次へ)] をクリックし、["Have disk" (ディスク使用)] をクリックします。
7. ["Browse" (参照)] ボタンをクリックして A:(D:\Driver) を選択します。
8. ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続けて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
9. お使いのモニターのモデルを選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックして、さらに ["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
10. ["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] というウィンドウが表示された場合には、["Yes" (はい)] ボタンをクリックします。["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

#### Microsoft® Windows® Millennium オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)], ["Setting" (設定)], ["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
  2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
  3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
  4. ["Monitor" (モニタ)] タブを選択します。
  5. ["Monitor Type" (モニタ タイプ)] 領域で、["Change" (変更)] ボタンをクリックします
  6. ["Specify the location of the driver" (ドライバの場所を指定)] を選択します。
  7. ["Display a list of all the driver in a specific location..." (特定の場所にあるすべてのドライバ一覧を表示し、インストールドライバを選択する)] を選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
  8. ["Have Disk" (ディスク使用)] ボタンをクリックします。
  9. A:\ (D:\driver) を指定して、["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
  10. ["Show all devices" (すべてのデバイスを表示)] を選択し、コンピュータに接続されているものに対応するモニターを選択して、["OK" (OK)] をクリックします。
-

11. [画面のプロパティ] ダイアログボックスが閉じるまで、["Close" (閉じる)] ボタンをクリックしてから ["OK" (OK)] ボタンをクリックする操作を繰り返します。

#### Microsoft® Windows® NT オペレーティングシステム

1. ["Start" (スタート)], ["Settings" (設定)], ["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックし、続いて ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
2. [登録情報の表示] ウィンドウで、[設定] タブをクリックしてから ["All Display Modes" (すべての表示モード)] をクリックします。
3. 使用したいモード (解像度、色数および [Vertical frequency (垂直周波数)] ) を選択し、["OK" (OK)] をクリックします。
4. ["Apply" (適用)] ボタンをクリックし、["Test" (テスト)] をクリックして画面が正常に表示されるか確認します。画面が正常に表示されない場合には、別のモード (解像度、色数または周波数がより低いモード) に変更します。



#### 注意

[すべての表示モード] にモードが表示されない場合には、ユーザー ガイドのプリセット タイミング モードを参照して、解像度と [Vertical frequency (垂直周波数)] を選択します。

#### Linux オペレーティングシステム

X-Window を実行するには、システム設定ファイルの一種である X86Config ファイルを作成する必要があります。

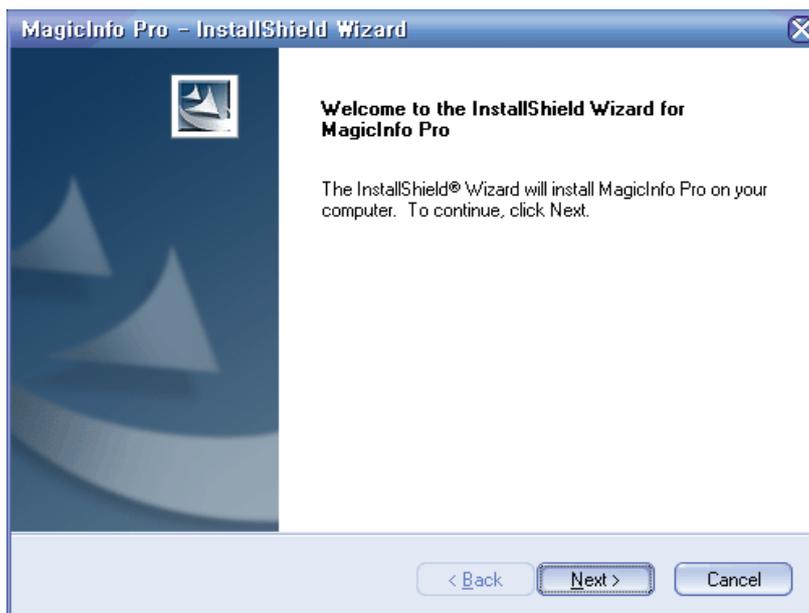
1. X86Config ファイルを実行した後に表示される最初と 2 番目の画面で ["Enter"] を押します。
2. 3 番目の画面はマウスの設定用です。
3. コンピュータのマウスを設定します。
4. 次の画面はキーボードの選択用です。
5. お使いのコンピュータのキーボードを設定します。
6. 次の画面はモニターの設定用です。
7. まず、モニターの水平周波数を設定します。(周波数は直接入力することができます)
8. モニターの ["Vertical frequency" (垂直周波数)] を設定します。(周波数は直接入力することができます)
9. モニターのモデル名を入力します。この情報は、実際の X-Window の実行には影響を与えません。
10. これでモニターの設定は完了です。その他の必要なハードウェアを設定してから、X-Window を実行します。

## MagicInfo Pro のインストール

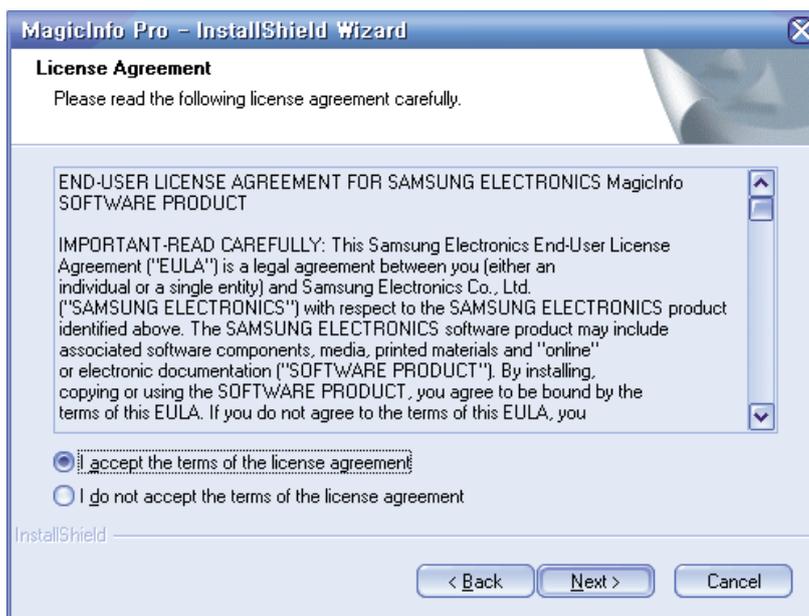
### インストール

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
  2. MagicInfo Pro のインストールファイルをクリックします。
-

3. Install Shield Wizard ウィンドウが表示されたら、["Next" (次へ)] をクリックします。



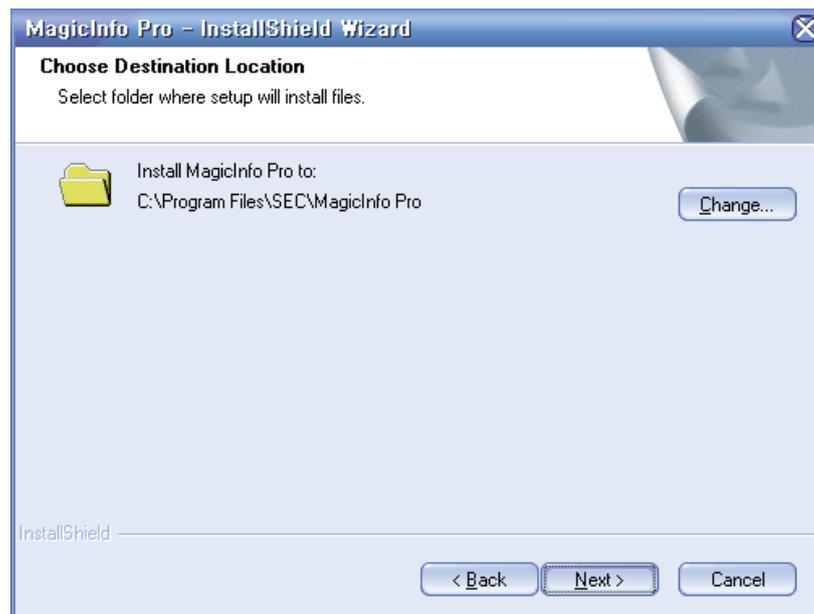
4. ["I agree to the terms of the license agreement" (使用許諾契約の条件に合意する)] を選択して、使用条件を承諾します。



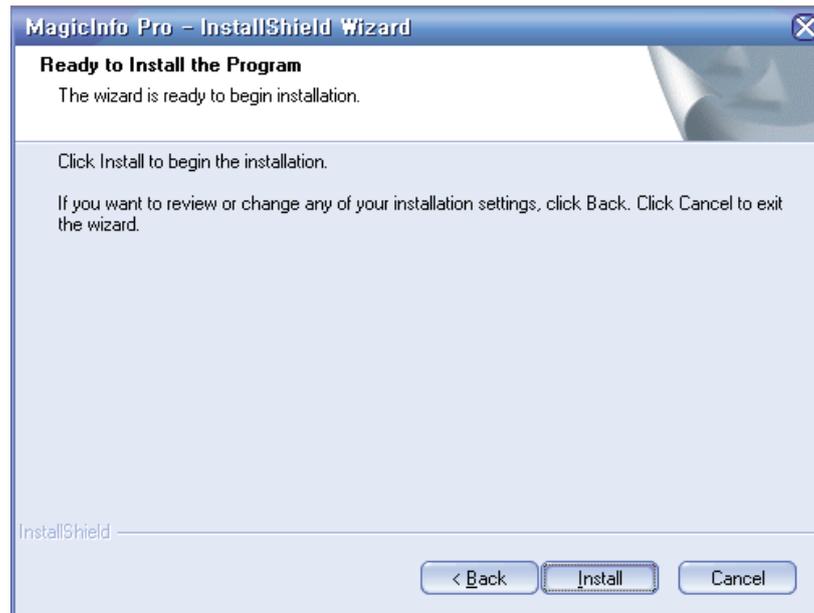
5. MagicInfo Pro Server プログラムにログインする必要があります。パスワードを入力してログインしてください。パスワードは、ログイン後に変更することができます。



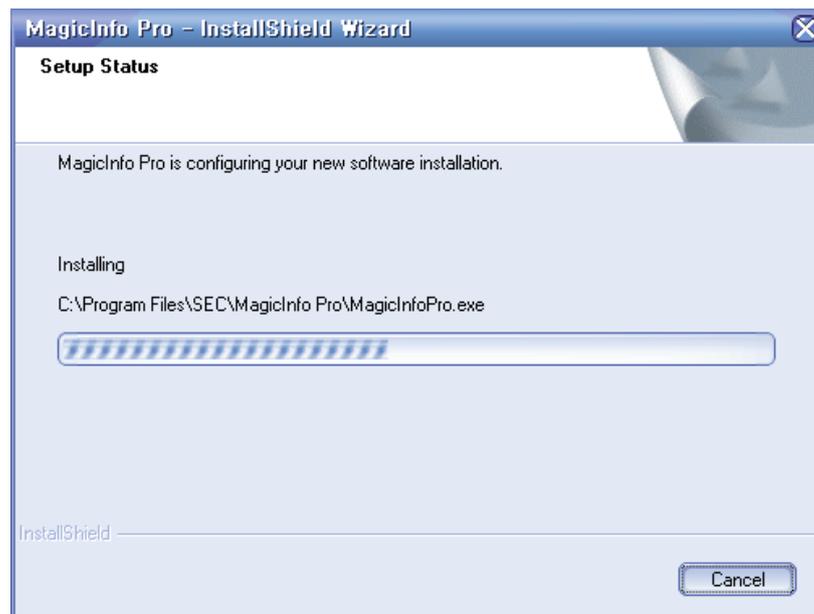
6. MagicInfo Pro プログラムをインストールするフォルダを選択します。



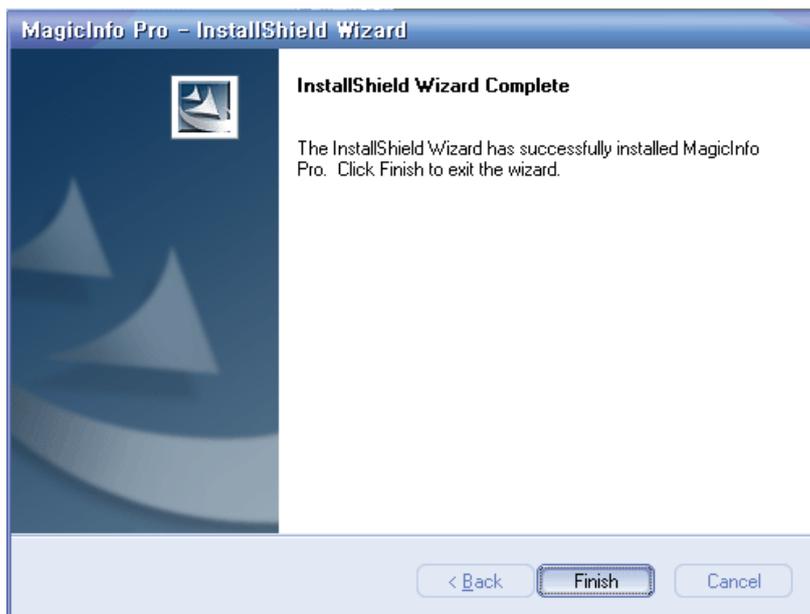
7. ["Install" (インストール)] をクリックします。



8. ["Installation Status" (インストールのステータス)] ウィンドウが表示されます。



9. MagicInfo Pro Server プログラムを正常に動作させるには、システムを再起動することをお勧めします。["Finish" (完了)] をクリックします。



10. インストールが完了すると、デスクトップに MagicInfo Pro の実行アイコンが表示されます。



11. アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動します。

## システム要件

	CPU	RAM	イーサネット	OS	アプリケーション
最小	P1.8	256M	100M/1G	Windows XP、Windows 2000 (Service Pack 4)	WMP9以降
推奨	P3.0GHz	512M			

## IRTOUCH

### IRTouch Screen Control Panel

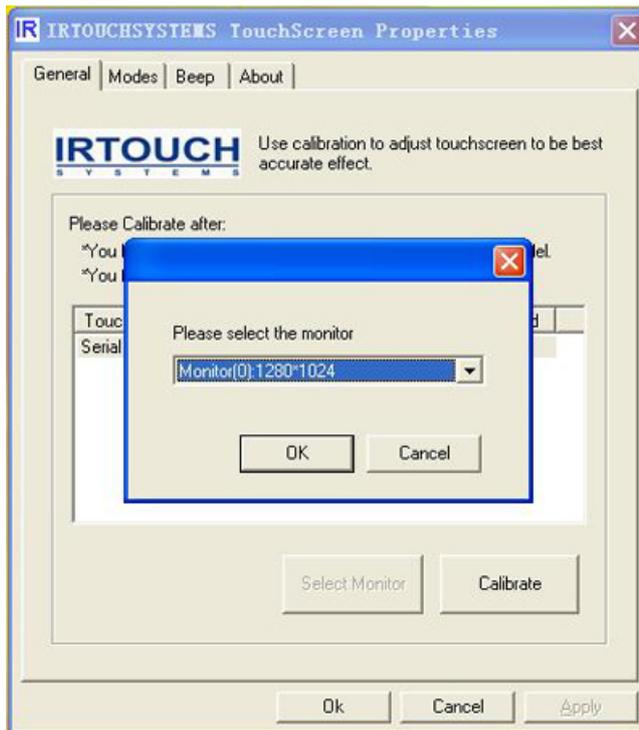
Double click the mark on the tabletop (as the following indication), or follow "Start" -> "All programs" -> "IRTouchSystems", and then click "IR TouchScreen Control Panel" and go to the Control Panel of the touchscreen as following.



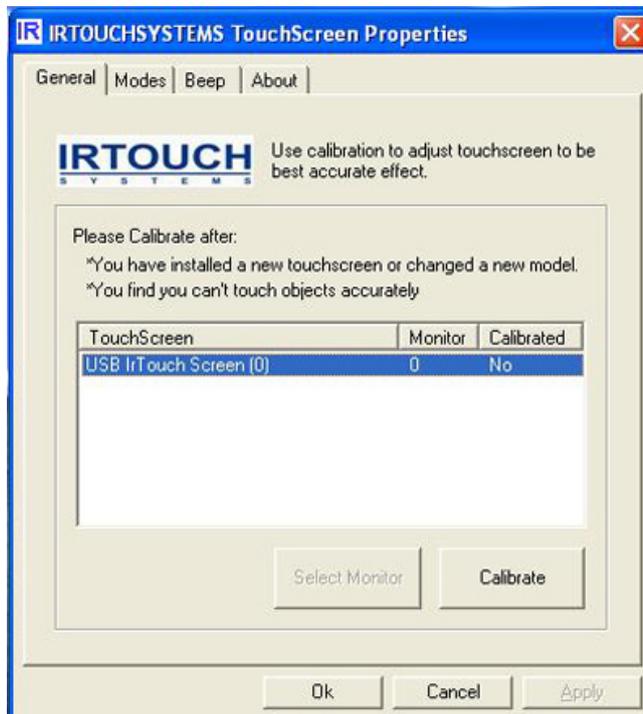


## General Control Panel menu

1. The control panel provides adjustment and configuration with USB and IR touchscreen of serial port and supports compatibility of multi-touchscreens at the same PC. This window shows the basic information of the touchscreen and calibration. If several touchscreens are mounted on the PC and status is set "multi-screens display", user may use the button [Select Monitor] and must choose monitor related to each touchscreen before calibration, otherwise the touchscreen won't work. The setting of multi-touchscreens at the same PC comprising of Steps: the butt mark will appear on the center of each monitor screen in master slave sequence operated by program after user clicks "Select Monitor". If does so, use may click the center of the butt mark so as to acknowledge the mounted-touchscreen. If there is no information of touchscreen on the monitor, user is required to press "Esc" or wait for 15 seconds, then program will pass the current the setting of touchscreen and continue automatically the next one; Double click the setting of touchscreen in the list. User may select the monitor related to each IR touchscreen and click "OK" representing the save and exit after the select-dialog box pops up. Finishing the above operations, program will show the number of monitor relevant to each touchscreen in the list of "Monitor".

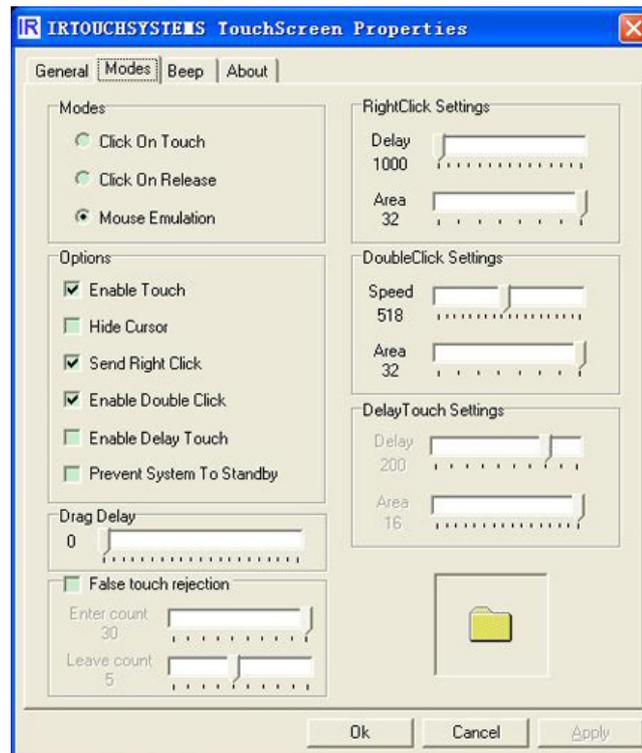


2. Select the touchscreen you want in the list and Click [Calibrate]. After calibration, the item "Calibrated" will show "Yes".



Calibration comprising of steps: select a touchscreen in the information list, then click "calibrate" button when the calibration window shows up. Calibration is done by clicking on 4 calibration points so that user only clicks the center of the bull's-eye in sequence. If failing to hit the bull's eye, user may move the pointer or fingers to the center of it again and lift based on the utilization of Click on Release when calibration. Press 'Esc' button to exit calibration. After calibration the "recalibrate", "OK", "cancel" buttons will show up. "ReCalibrate" means recalibration; "OK" means saving and exit; "Cancel" means exit without saving.

## Modes Setting



1. Click on touch

Mouse single click event happens immediately at the point when the finger contact the touchscreen, not for dragging objects. In this mode the touchscreen responds fastest, it's usually used for big button applications.

2. Click on Release

Mouse click event happens at the point where the finger leaves touchscreen; in this mode the finger moving position is followed by eyes and precisely controlled, therefore it's suitable for small buttons or hyperlink of web pages, such as POS, WEB applications.

3. Mouse Emulation

This is the default mode. Full emulation of mouse functions including left-button click, moving, lifting, and dragging; if writing, drawing, or dragging map are required, this mode is well suitable to the above application.

4. Enable Touch

Enable(default)/disable touchscreen;

5. Hide Cursor

Hide cursor without closedown of the mouse function; because Mouse cursor is not used in some applications but always is applied to such filed as big button, playing animation, or children education in "Click On Touch" mode.

6. Send Right Click

To enable right-click function(default). Click and press on any area on the screen for two seconds, the right-click pop-up menu will show up. Right-click is only available in Mouse Emulation mode. User may adjust the number of "delay" in "Right Click Settings" if finding the pop-up time is

either fast or slow. Notice: the higher the value, the slower the pop-up time. "Delay" unit is "millisecond". The "area" is used for adjusting the jitter-range of the touch surface within limit of error (unit: pixel). The higher the value, the wider the jitter-range. Right Click menu will pop up so long as the finger contacts the screen for a while within the range.

7. Enable Double Click

Same as the function of Mouse Double Click. Double click on the same setting area of objects in a short time. The "Double Click Settings" property can be set so as to get the best performance on Double Click. "Speed" unit is "millisecond". The higher the value, the longer the effective time interval between the double clicks raising the function of Double Click. "Area" is used for either amplifying or reducing the Double Click area. The higher the value (unit: pixel), the more sensitive the response of Double Click. Double-click should be utilized in the applications such as "Click on touch", "Click on Release", "Mouse Emulation".

8. Enable Delay Touch

After this function is enabled, high speed touch or scratch on the screen becomes ineffective. It is the very effective for touch to maintain steadily for a time in specified area. This function is for banking and industrial control applications, such as ATM, Switches of industrial equipment and used in both Click on touch and Click on Release modes. The "Delay Touch Setting" properties can be set selectively. The higher the value (unit:millisecond), the longer the touch-delay time; "area" is utilized to regulate the effective area in which finger maintains on the touch plane. The higher the value (unit: pixel), the wider the effective area.

9. Prevent System to Standby

Unable (default); this function may prevent System from Standby. When the IR touchscreen is provided with serial ports as a simple output device, the function may enable recovery out of the state of automatic system standby.

10. Drag Delay

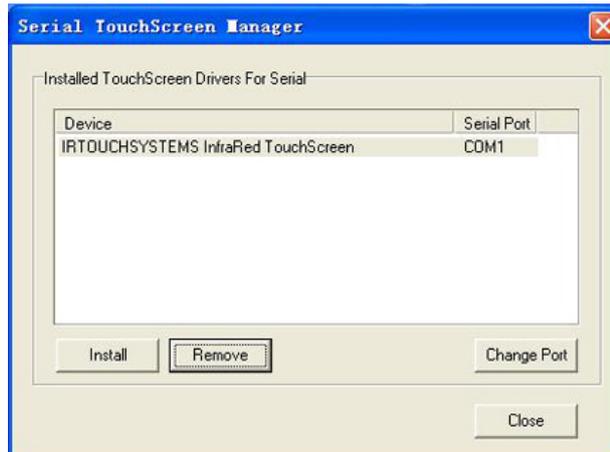
The function show the amount of millisecond "Drag Delay" will take to be enabled after you click that. Drag Delay may be adjusted to the correct value if the object can not be precisely selected or if jitter happens to cursor when you touch. The unit is millisecond.

11. False touch rejection

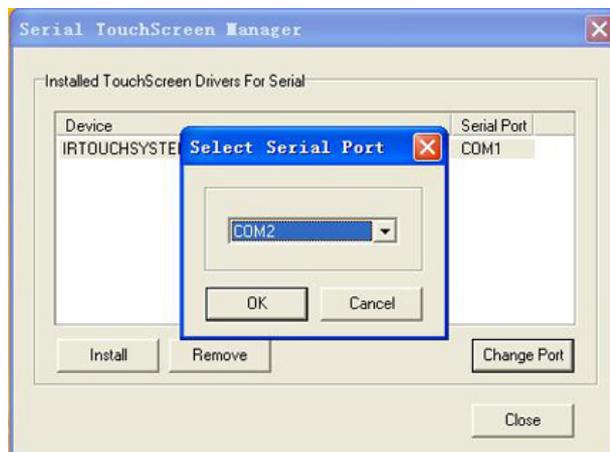
The snow and rain drop will be mistakenly a single touch. So the function of "False touch rejection" may be selected in driver to avoid the above error without the normal manipulation. The function of "Enable Delay Touch" will do the work to prevent the false touch. Instructions see Attachment : Setting of touchscreen in strong light, rain and snow condition.

## Serial port Settings

1. Installation of the driver of serial port finished, choose "start" - "All Programs" - "IRTOUCH-SYSTEMS" - "Serial Port Settings". In the list show both the name of IR touch device installed and the number of the serial ports. You may choose [Install] when some serial ports are available or choose [Remove] to uninstall the driver if you don't want to use the touchscreen.



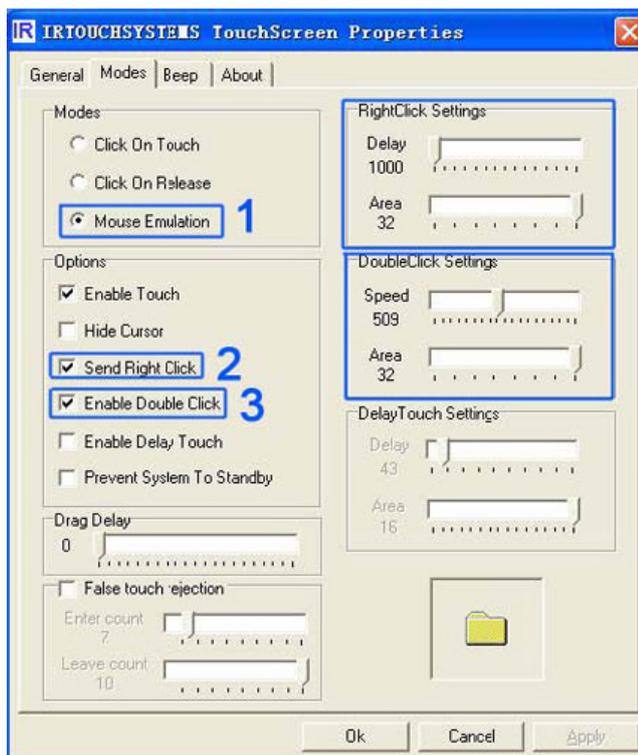
2. Click [Change Port] to set and change setting of the selected Serial Port.



## Attachment

### The general setting of touchscreen

Select "Mouse Emulation" mode, then choose "Enable Touch" Send Right Click Enable DoubleClick. In general functions of Enable Delay Touch and False touch rejection may not be selected to avoid slowing the touch response. It is proved null if you quickly click or drag the touch point.

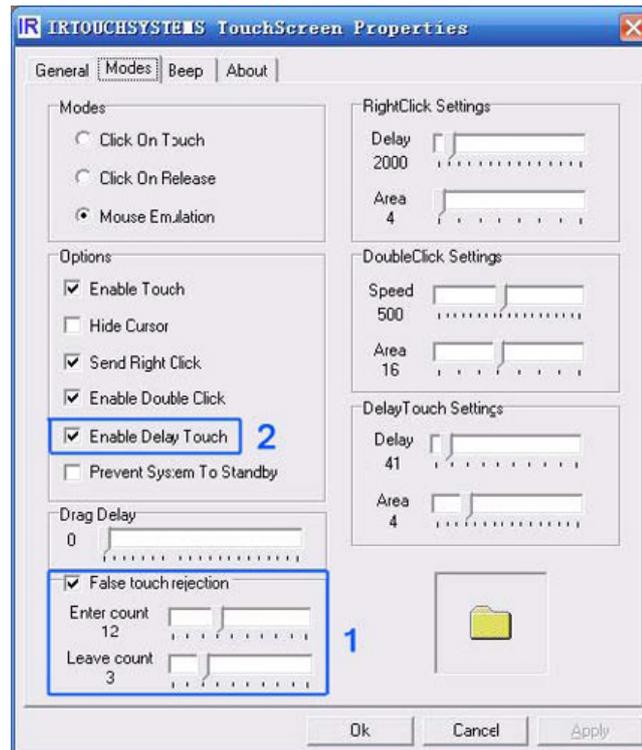


## Installation

1. Send Right Click : To enable right-click function (default). Click and press on any area on the screen for two second, the right-click menu will pop-up. Right-click is only available in Mouse Emulation mode. The "Delay" value is 1000(1second); The "Area" value is set to 32px at optimum.
2. Enable Double Click : Same as the function of Mouse Double Click. Double click on the same setting area of objects in a short time may open up the object. "Speed" unit is at 500 to 550. "Area" unit is 32px.
3. Drag Delay : The function show the amount of millisecond "Drag Delay" will take to be enabled after you click that. Drag Delay may be adjuste d to the correct value if theobject can not be precisely selected or if jitter happens to cursor when you touch. The unit is millisecond.

## Setting of touchscreen in strong light, rain and snow condition

The snow and rain drop will be mistakenly a single touch. So the function of "False touch rejection" maybe selected in driver to avoid the above error without the normal manipulation. The function of "EnableDelay Touch" will do the work to prevent the false touch.



## Specification

1. Each value should be gradually set in "Delay Touch Settings" after fulfillment of "Enable Delay Touch". "Delay" is set to 40 and "Area" to 16.
2. Enter count : It means how many times you click to approach the setting value within 3 seconds. Then driver will install the function of "False touch rejection" where quick click or scratch will be considered void except the touch point on the active area for quite a while.
3. Leave count : "False touch rejection" is no longer effective when the click times within 5 seconds is less than the setting number.

---

# LCD ディスプレイの調整

## 入力

### 利用できるモード

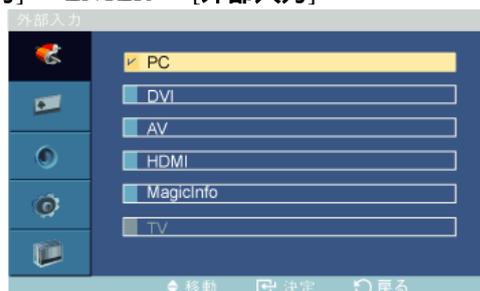
- **P** PC / DVI
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo



TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

## 外部入力 **PAHM**

MENU ENTER [入力] ENTER [外部入力]



▲, ▼ ENTER

PC、DVI または LCD ディスプレイに接続されているその他の外部入力信号を選択して使用します。使用する画面を選択します。

1. **PC**
2. **DVI**
3. **AV**
4. **HDMI**
5. **MagicInfo**

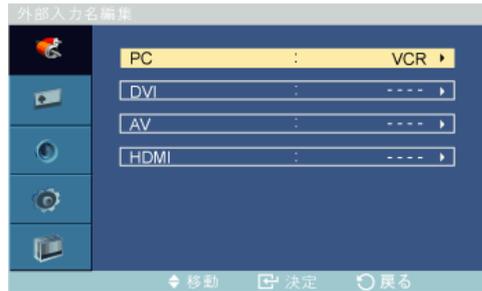


- リモコンの指示ボタンは SOURCE ボタンです。
- PC および DVI の場合は、ケーブルが切り離されると無効になります。

## 外部入力名編集 **PAHM**

MENU ENTER [入力] ▼ ENTER [外部入力名編集]

---



▲, ▼ ENTER

入力信号の選択を簡単にするために、入力ジャックに接続されている入力機器に名前を付けます。

1. PC
2. DVI
3. AV
4. HDMI

## 映像 [PC / DVI / MagicInfo モード]

### 利用できるモード

- **P** PC / DVI
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo

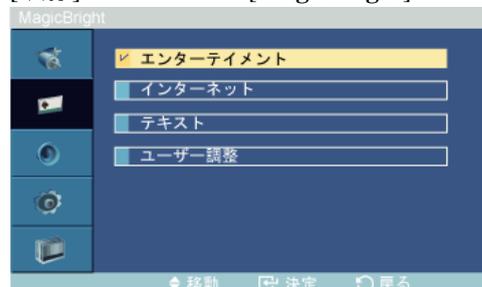


注意

TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

## MagicBright **PM**

MENU ▼ ENTER [映像] ENTER [MagicBright]



▲, ▼ ENTER

MagicBright は、表示している画像の内容に合わせて最適な表示環境を提供するための機能です。現在使用できる4つのモード:エンターテイメント、インターネット、テキストおよびユーザー調整。各モードには、固有の輝度値が設定されています。MagicBright コントロールボタンを押すだけで、4つの設定の中からひとつを選択することができます。

(ダイナミックコントラスト モードが オン の場合は使用できません)

1. エンターテイメント

高輝度

DVD や VCR などの動画を見るためのモードです。

2. インターネット

中輝度

テキストとグラフのように、画像が混在するものを扱う場合のモードです。

3. テキスト

通常の輝度

文書や大量のテキストを扱う作業用です。

4. ユーザー調整

値は弊社エンジニアが慎重に選択していますが、事前に設定された値では快適な表示にならない場合があります。

この場合、OSD メニューを使用して輝度とコントラストを調整します。

ユーザー調整 **PM**

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整]

(ダイナミックコントラスト モードが オン の場合は使用できません)



ユーザー調整 機能を使用して画像を調整すると、MagicBright はユーザー調整 モードに変わります。

コントラスト

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ENTER [コントラスト]



◀▶ ENTER

コントラストを調整します。

明るさ

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ENTER [明るさ]



◀▶ ENTER

輝度を調整します。

## シャープネス

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ▼ ENTER [シャープネス]

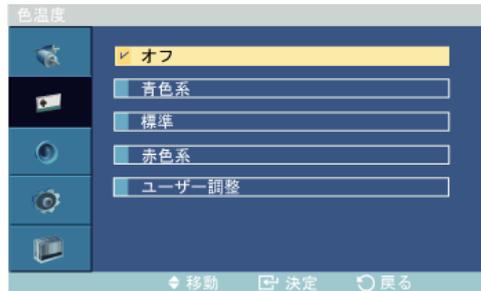


◀▶ ENTER

シャープネスを調整します。

## 色温度 **PM**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ENTER [色温度]



▲▼ ENTER

色温度を変更できます。

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)

1. オフ
2. 青色系
3. 標準
4. 赤色系
5. ユーザー調整



[色温度] を [青色系]、[標準]、[赤色系] または [ユーザー調整] に設定すると、Color Temp. 機能が無効になります。

色温度を **オフ** に設定している場合は、**カラー調整** 機能は無効になります。

## カラー調整 **PM**

赤、緑、青のそれぞれの色バランスを調整します。

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ENTER [カラー調整]

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)



カラー調整機能を使用して映像を調整する場合には、色温度が **ユーザー調整** モードになります。

## 赤

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ENTER [カラー調整] ENTER [赤]



◀▶ ENTER

## 緑

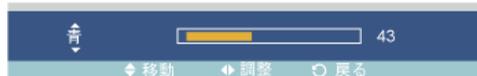
MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ENTER [カラー調整] ▼ ENTER [緑]



◀▶ ENTER

## 青

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ENTER [カラー調整] ▼ ▼ ENTER [青]



◀▶ ENTER

## Color Temp. **PM**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ENTER [Color Temp]



◀▶ ENTER

Color Temp. は、画像の色の「暖かさ」を示す指標です。

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)



注意

この機能は、色温度が **オフ** に設定されている場合にのみ有効になります。

## 画面調整 **P**

画面調整 は、ゆらぎやちらつきのある不安定な映像の原因となるノイズを取り除くことにより、最適な映像を得るための微調整に使用します。細密調整を使用して満足な結果が得られない場合には、粗調整による調整を行ってから再度細密調整を行ってください。

(PC モードでのみ使用可)

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面調整]

## 粗調整

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面調整] ENTER [粗調整]



◀▶ ENTER

縦縞などのノイズを除去します。粗調整では、画面イメージ領域が移動する場合があります。水平コントロールメニューを使用して、中央に位置を合わせることができます。

## 微調整

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面調整] ▼ ENTER  
[微調整]



◀▶ ENTER

横縞などのノイズを除去します。細密調整後もノイズが残る場合は、周波数 (クロック速度) の調整を行ってから、調整し直してください。

## H-ポジション

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面調整] ▼ ▼ ENTER  
[H-ポジション]



◀▶ ENTER

画面の水平位置を調整します。

## V-ポジション

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面調整] ▼ ▼ ▼  
ENTER [V-ポジション]

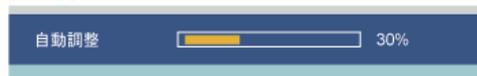


◀▶ ENTER

画面の垂直位置を調整します。

## 自動調整 **P**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [自動調整]



微調整、粗調整、ポジションの値は自動的に調整されます。コントロールパネルで解像度を変更すると、自動機能が実行されます。

(PC モードでのみ使用可)

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)

 注意

リモコンの指示ボタンは AUTO ボタンです。

## 信号バランス<sup>P</sup>

信号ケーブルが長い場合弱くなっている RGB 信号を補強します。

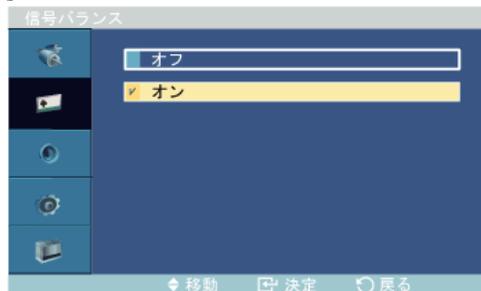
MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]

(PC モードでのみ使用可)

(ダイナミックコントラスト モードが オン の場合は使用できません)

## 信号バランス

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
 ENTER [信号バランス]



▲, ▼ ENTER

信号制御は オン または オフ を選択します。

## 信号制御

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
 ENTER ▼ [信号制御]

### 1. R ゲイン

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
 ENTER ▼ [信号制御] ENTER [R ゲイン]



◀, ▶ ENTER

### 2. G ゲイン

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
 ENTER ▼ [信号制御] ▼ ENTER [G ゲイン]



◀, ▶ ENTER

### 3. B ゲイン

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
 ENTER ▼ [信号制御] ▼ ▼ ENTER [B ゲイン]



◀▶ ENTER

4. R オフセット

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
ENTER ▼ [信号制御] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [R オフセット]



◀▶ ENTER

5. G オフセット

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
ENTER ▼ [信号制御] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [G オフセット]



◀▶ ENTER

6. B オフセット

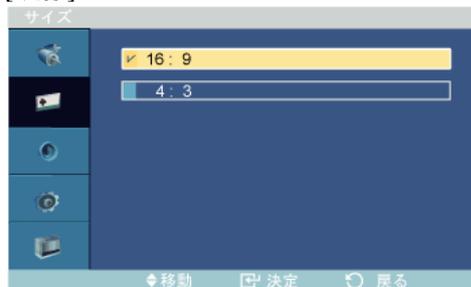
MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [信号バランス]  
ENTER ▼ [信号制御] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [B オフセット]



◀▶ ENTER

サイズ<sup>P</sup>

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [サイズ]



▲▼ ENTER

サイズは切り替えられます。

(ダイナミックコントラストモードがオンの場合は使用できません)

1. 16:9
2. 4:3

ダイナミックコントラスト<sup>PM</sup>

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [ダイナミック  
コントラスト]



▲, ▼ ENTER

ダイナミックコントラストは、画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

1. オフ
2. オン

## 映像 [ AV / HDMI モード ]

### 利用できるモード

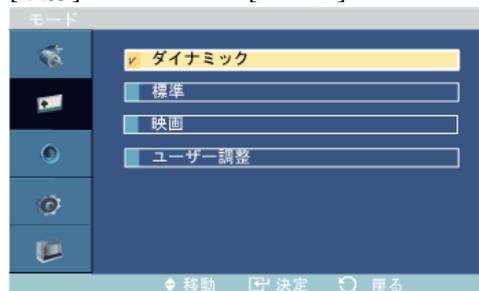
- **P** PC / DVI
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo



TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

## モード **AH**

MENU ▼ ENTER [映像] ENTER [モード]



▲, ▼ ENTER

PDP ディスプレイには、「ダイナミック」、「標準」、「映画」および「ユーザー調整」の4種類の自動映像設定が工場出荷時に設定されています。

ダイナミック、標準、映画、またはユーザー調整を有効にできます。

(ダイナミックコントラスト モードが オンの場合は使用できません)

1. ダイナミック
2. 標準
3. 映画
4. ユーザー調整



リモコンの指示ボタンは P.MODE ボタンです。

## ユーザー調整 **AH**

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整]

(ダイナミックコントラスト モードが **オン** の場合は使用できません)

## コントラスト

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ENTER [コントラスト]



◀▶ ENTER

コントラストを調整します。

## 明るさ

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ENTER [明るさ]



◀▶ ENTER

輝度を調整します。

## シャープネス

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ▼ ENTER [シャープネス]



◀▶ ENTER

画像のシャープネスを調整します。

## 色の濃さ

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ▼ ▼ ENTER [色の濃さ]



◀▶ ENTER

画像の色を調整します。

## 色あい

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER  
[色あい]



◀▶ ENTER

ナチュラルトーンを表示に追加します。

## 色温度 **AH**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ENTER [色温度]



▲, ▼ ENTER

色温度を変更できます。個々の色成分もユーザーが調整することができます。

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)

1. オフ
2. 青色系 2
3. 青色系 1
4. 標準
5. 赤色系 1
6. 赤色系 2



注意

色温度 を 青色系 2、青色系 1、標準、赤色系 1、または 赤色系 2 に設定すると、Color Temp 機能が無効になります。

## Color Temp. **AH**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ENTER [Color Temp]



◀▶ ENTER

Color Temp. は、画像の色の「暖かさ」を示す指標です。

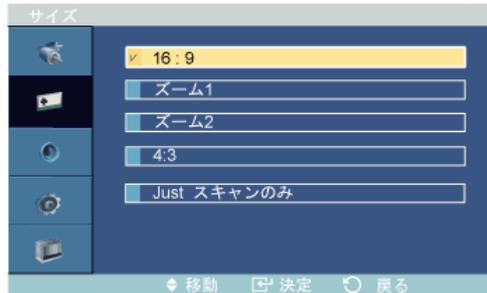
(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)

 **注意**

この機能は、色温度が **オフ** に設定されている場合にのみ有効になります。

## サイズ **AH**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [サイズ]



▲, ▼ ENTER

サイズは切り替えられます。

1. 16:9
2. ズーム 1
3. ズーム 2
4. 4:3
5. スキャンのみ

(ダイナミックコントラストモードが **オン** の場合は使用できません)

 **注意**

ズーム 1、ズーム 2 は HDMI では使用できません。

スキャンのみ は HDMI でのみ使用できます。

## デジタル NR (Digital Noise Reduction) **AH**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [デジタル NR]



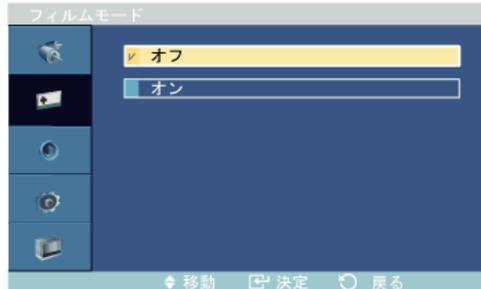
▲, ▼ ENTER

デジタルノイズリダクション機能の **オフ/オン** を切り替えます。デジタルノイズリダクション機能によって、よりきれいではっきりした画像をお楽しみいただけます。

1. オフ
2. オン

## フィルムモード **A**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [フィルムモード]



▲, ▼ ENTER

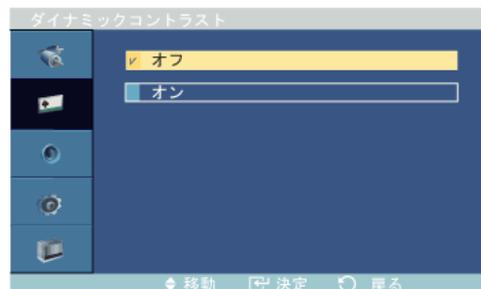
フィルムモード機能によって、劇場品質で映像を楽しむことができます。

(HDMI モードでは、入力信号がインターレース スキャンの場合にこの機能を使用できません。プログレッシブ スキャン信号では使用できません。)

1. オフ
2. オン

## ダイナミックコントラスト **AH**

MENU ▼ ENTER [映像] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [ダイナミックコントラスト]



▲, ▼ ENTER

ダイナミックコントラストは、画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

1. オフ
2. オン

## 音声

### 利用できるモード

- **P** PC/DVI

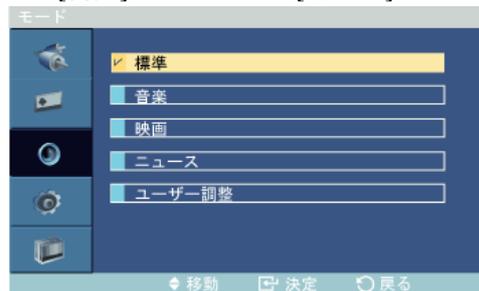
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo



TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

## モード **PAHM**

MENU ▼ ▼ ENTER **[音声]** ENTER **[モード]**



▲, ▼ ENTER

LCD ディスプレイには、Hi-Fi ステレオアンプが内蔵されています。

### 1. 標準

工場出荷時の標準設定にするには **[標準]** を選択します。

### 2. 音楽

ミュージック ビデオまたはコンサートを視聴するには **[音楽]** を選択します。

### 3. 映画

映画を観るには **[映画]** を選択します。

### 4. ニュース

ほとんどが会話の番組 (ニュースなど) を視聴するときには、**[ニュース]** を選択します。

### 5. ユーザー調整

好みに合わせて設定を調整するには、**ユーザー調整** を選択します。

## ユーザー調整 **PAHM**

好みに合わせて音声設定を調整することができます。

MENU ▼ ▼ ENTER **[音声]** ▼ ENTER **[ユーザー調整]**



- 調整の際は、音量が 0 に設定されていても音声がかかります。
- **ユーザー調整** 機能を使用して音声の調整を行うと、**ユーザー調整** が **モードモード** になります。

## 低音

MENU ▼ ▼ ENTER [音声] ▼ ENTER [ユーザー調整] ENTER [低音]



◀▶ ENTER

周波数の低い音声を強調します。

## 高音

MENU ▼ ▼ ENTER [音声] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ENTER [高音]



◀▶ ENTER

周波数の高い音声を強調します。

## バランス

MENU ▼ ▼ ENTER [音声] ▼ ENTER [ユーザー調整] ▼ ▼ ENTER [バランス]

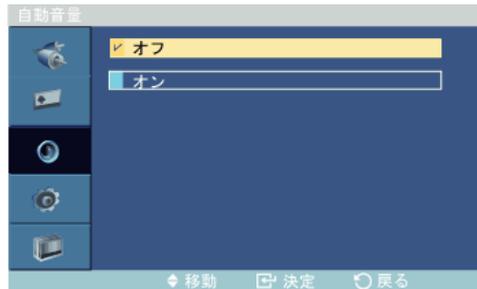


◀▶ ENTER

左右のスピーカーの音声バランスを調整できます。

## 自動音量 PAHM

MENU ▼ ▼ ENTER [音声] ▼ ▼ ENTER [自動音量]



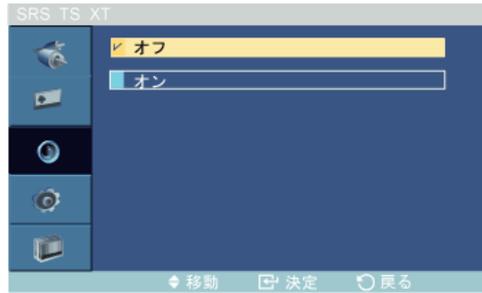
▲, ▼ ENTER

放送局による音量レベルの差を小さくします。

1. オフ
2. オン

## SRS TS XT PAHM

MENU ▼ ▼ ENTER [音声] ▼ ▼ ▼ ENTER [SRS TS XT]



▲, ▼ ENTER

SRS TS XT は、2 台のスピーカーで 5.1 チャンネルのコンテンツを再生するときの問題を解決する特許取得済みの SRS 技術です。TruSurround は、テレビの内蔵スピーカーなどのスピーカー 2 台で構成される再生システムで、素晴らしい仮想サラウンド音声環境を実現します。すべてのマルチチャンネルフォーマットと完全な互換性があります。

1. オフ
2. オン



リモコンの指示ボタンは SRS ボタンです。

## 設定

### 利用できるモード

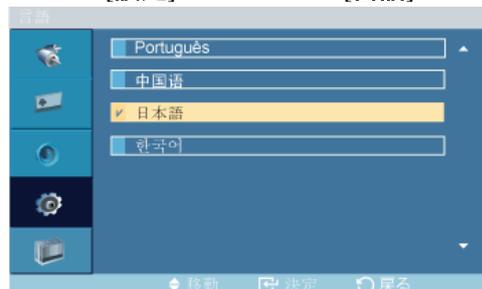
- **P** PC / DVI
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo



TV メニューは、TV チューナー ボックスがインストールされている場合に利用可能になります。

## 言語 **PAHM**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ENTER [言語]



▲, ▼ ENTER

11 つの言語のいずれかを選択できます。

English, Deutsch, Español, Français, Italiano, Svenska, Русский  
Português, 中国語, 日本語, 한국어



注意

言語の選択は、OSD の言語にのみ反映されます。コンピュータ上で実行されるソフトウェアには影響しません。

## 時刻 PAHM

時刻設定、スリープタイマー、オンタイマー、およびオフタイマーの4つの時刻設定からひとつを選択します。

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ENTER [時刻]

### 時刻設定

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ENTER [時刻] ENTER [時刻設定]

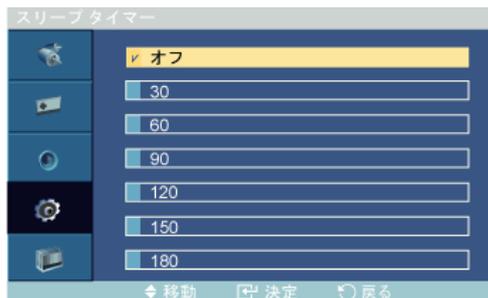


▲, ▼ / ◀, ▶ ENTER

現在の時刻を設定します。

### スリープタイマー

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ENTER [時刻] ▼ ENTER [スリープタイマー]



▲, ▼ ENTER

所定の時間が経過したら LCD ディスプレイを自動的にオフにします。

1. オフ
2. 30
3. 60
4. 90

5. 120
6. 150
7. 180

## オンタイマー

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ENTER [時刻] ▼ ▼ ▼ ENTER [オン  
タイマー]



▲, ▼ / ◀, ▶ ENTER

指定した時刻に LCD ディスプレイが自動的にオンになります。LCD ディスプレイが自動的にオンになったときのモードと音量レベルを調整します。

## オフタイマー

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ENTER [時刻] ▼ ▼ ▼ ENTER  
[オフタイマー]



▲, ▼ / ◀, ▶ ENTER

指定した時刻に LCD ディスプレイが自動的にオフになります。

## メニューの背景透明度 **PAHM**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ENTER [メニューの背景透明度]



▲, ▼ ENTER

OSD の背景の透明度を変更します。

1. 高
2. 中
3. 低
4. 透明

### 安全ロック PIN **PAHM**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ENTER [安全ロック PIN]

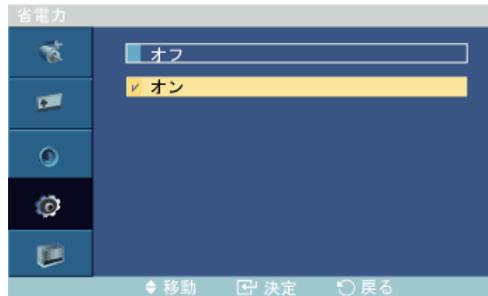


[0-9, 0-9, 0-9, 0-9] [0-9, 0-9, 0-9, 0-9] [0-9, 0-9, 0-9, 0-9]

パスワードは変更できます。

### 省電力 **PAHM**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [省電力]



▲, ▼ ENTER

この機能は、省エネのためにユニットの電力消費の調整を行います。

1. オフ
2. オン



スタンバイ時の消費電力を減らすには、**省電力** を **オン** に設定します。ただし、**省電力** が **オン** になっているときには、MDC のリモート Power On 機能および MagicInfo の WOL (Wake On LAN) 機能は使用できません。

### HDMI 黒しベル **H**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [HDMI 黒しベル]



▲, ▼ ENTER

DVD またはセットトップボックスが HDMI を経由してテレビに接続されている場合、接続している外部デバイスによっては、ブラックレベルの上昇、コントラストの低下、変色などの画質の低下の原因となることがあります。この場合には、**HDMI 黒しレベル**を設定してテレビの画質を調整してください。

1. 標準
2. 低

## 画像分割 **PH**

**画像分割** は、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。

**画像分割** がオンになっているときには、**画像分割** 画面の設定を調整することができます。

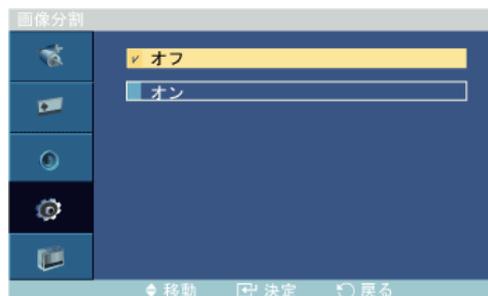
MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画像分割]

注意

**画像分割** の実行時には、**自動調整**、**画面調整**、および**サイズ**機能は使用できません。**画像分割** は、**MagicInfo** モードでは動作しません。

## 画像分割

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画像分割]  
ENTER [画像分割]



▲, ▼ ENTER

選択したディスプレイの **画像分割** 機能のオン/オフを切り替えます。

1. オフ
2. オン



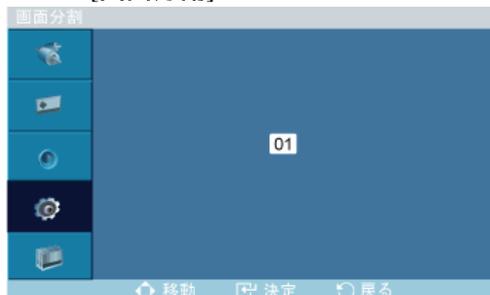
▲, ▼ ENTER

垂直方向に画面をいくつかの部分に分割するかを設定します。

画像分割は:1, 2, 3, 4, および 5.

## 画面分割

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画像分割]  
 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割]



スクリーンを複数の画像に分割できます。分割するときのレイアウトとともに、分割する画面数を選択できます。

- [Screen Divider] でモードを選択します。
- [Display Selection] でディスプレイを選択します。
- 選択したモードの数字を押すと、配置が設定されます。

## 画面分割 PAHM

**画面分割** 機能は、静止画が画面上に長時間表示されたときに発生することのある残像を防止するのに使用します。

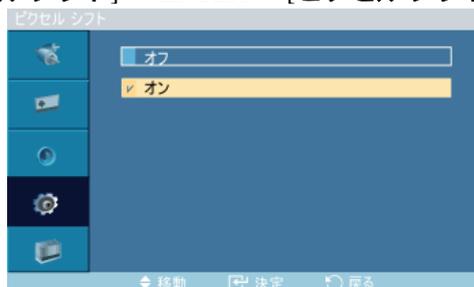
- **画面分割** 機能は、一定の時間感覚で画面をスクロールします。
- この機能は、電源がオフになっているときには使用できません。

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割]

## ピクセルシフト

## ピクセルシフト

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割]  
 ENTER [ピクセルシフト] ENTER [ピクセルシフト] ▲, ▼ ENTER

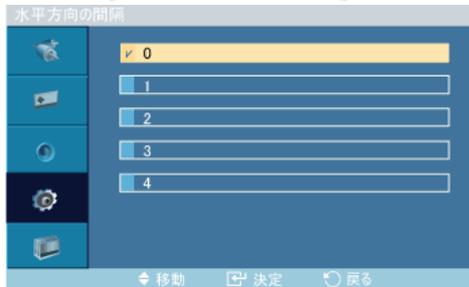


PDP 上のすべてのピクセルを水平または垂直方向に動かすこの機能を使用して、画面に残像が発生するのを防止することができます。

1. オフ
2. オン

## Horizontal Dot

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ENTER [ピクセルシフト] ▼ ENTER [Horizontal Dot] ▲,▼ ENTER

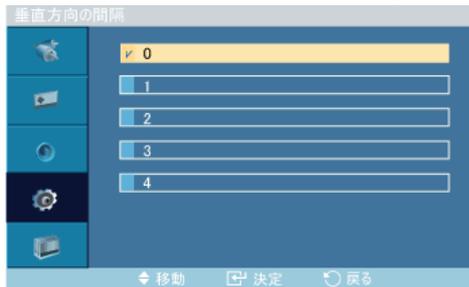


画面を水平方向に何ピクセル移動するか設定します。

画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

## Vertical Line

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ENTER [ピクセルシフト] ▼ ▼ ENTER [Vertical Line] ▲,▼ ENTER



画面を垂直方向に何ピクセル移動するか設定します。

画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

## 時間

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ENTER [ピクセルシフト] ▼ ▼ ▼ ENTER [時間] ▲,▼ ENTER

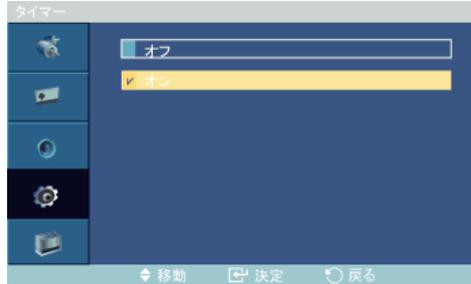


それぞれ、水平または垂直方向の動作を実行する間隔を設定します。

## Timer

### Timer

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ▼ ENTER [Timer] ENTER [Timer] ▲,▼ ENTER



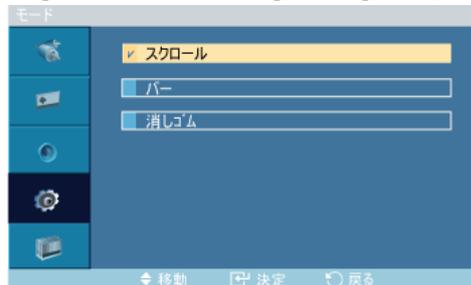
画面焼き付き防止のタイマーを設定することができます。

残像を消去するための処理を開始する場合には、処理は設定された時間行われ、自動的に完了します。

1. オフ
2. オン

## モード

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ▼ ENTER [Timer] ▼ ENTER [モード] ▲,▼ ENTER



画面分割 タイプを変更できます。

1. スクロール
2. バー
3. 消しゴム

## 周期

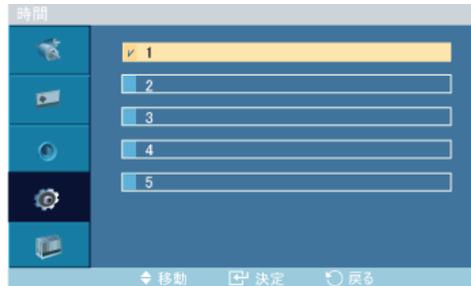
MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ▼ ENTER [Timer] ▼ ▼ ENTER [Period] ▲,▼ ENTER



この機能を使用して、各モードセットにおける実行間隔をタイマーに設定します。

## 時間

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ▼ ENTER [Timer] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [時間] ▲, ▼ ENTER

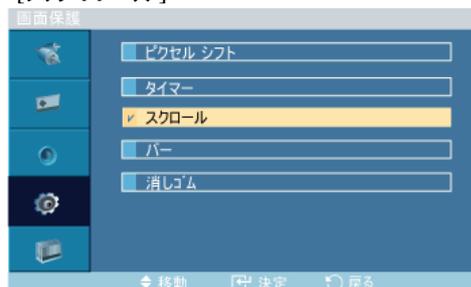


設定された間隔の範囲内で、実行する時間を指定します。

- モード-スクロール :1~5 秒
- モード-バー、消しゴム :10~50 秒

## スクロール

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ▼ ▼ ENTER [スクロール]

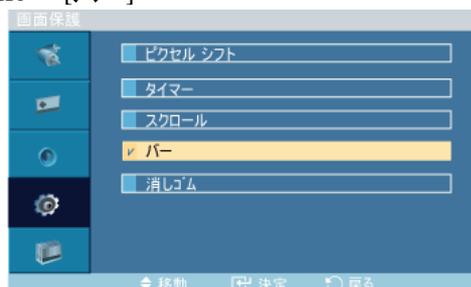


この機能により、パターンに従って PDP 上のすべてのピクセルを動かして、画面に残像が発生するのを防止します。

特に画面上に静止画像を長時間表示したとき、画面上に残像または記号が残っている場合には、この機能を使用します。

## バー

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [画面分割] ▼ ▼ ▼ ENTER [バー]



この機能を使用して、長い黒白の垂直線を動かすことにより、画面上に残像が発生するのを防止します。







◀▶ ENTER



注意

PC モードでのみ使用可



注意

Reset 機能は、**画像分割** が **オン** のときには使用できません。

## カラーリセット **PAHM**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼  
ENTER [リセット] ▼ ENTER [カラーリセット]



◀▶ ENTER

## ライト調整 **PAHM**

MENU ▼ ▼ ▼ ENTER [設定] ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼  
ENTER [ライト調整]



◀▶ ENTER

エネルギー消費を抑えるため、インバーターランプを調整します。



注意

PC、DVI、AV、HDMI、TV モードで **ダイナミックコントラスト** が **オン** に設定されているときには動作しません。

## マルチコントロール

### 利用できるモード

- **P** PC / DVI
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo

## マルチコントロール **PAHM**

SET に個別の ID を割り当てます。

MENU ▼ ▼ ▼ ▼ ENTER [マルチコントロール] ENTER



▲, ▼ [0~9]

- **ID 設定**

SET に固有の ID を割り当てます。

- **ID 入力**

SET ごとに送信機の機能を選択します。送信機設定に対応する ID を持つ SET のみが有効になります。

## MagicInfo

### 利用できるモード

- **P** PC / DVI
- **A** AV
- **H** HDMI
- **M** MagicInfo

### 注意

- このモニターセット用のオペレーティングシステムは、英語のみをサポートしているため、その他の言語は正常に表示されません。
  - **MagicInfo** の場合は、**MagicInfo** でリモコンを使用できます。ただし、別売りの USB キーボードを使用することをお勧めします。
  - Device モードの **MagicInfo** では、外部デバイスを起動中に移動するとエラーの原因となる場合があります。外部デバイスの設定は、LCD ディスプレイがオンになっているときにのみ行います。
  - ネットワークに使用されている LAN ケーブル（例: ビデオ表示）を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicInfo) が停止することがあります。ケーブルを外したら、システムを再起動してください。
  - USB 機器に使用されている LAN ケーブル（例: ビデオ表示）を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicInfo) が停止することがあります。
  - 他の入力信号に切り替えるには、**MagicInfo** の SOURCE ボタンを押します。
  - プリセットされている LCD ディスプレイのパスワードは「000000」です。
  - サーバー プログラムの Power-On オプションは、LCD ディスプレイの電源が完全にオフになっている場合にのみ機能します。
-

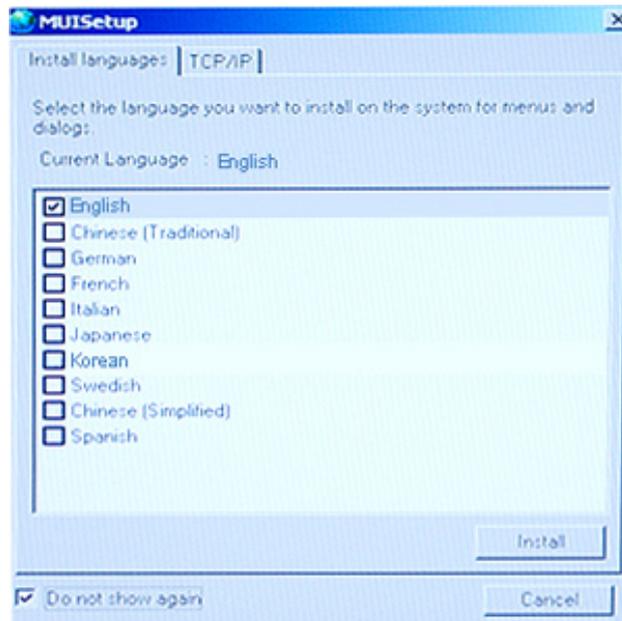
LCD ディスプレイのシステムエラーの原因となる場合がありますので、LCD ディスプレイの終了中に Power-On オプションを使用しないようにしてください。

- **MagicInfo** の OSD 画像では、ネットワーク モードはデバイスと同じになります。
- **MagicInfo** を MagicNet Server プログラムとともに使用するとき:Network モードを実行します。
- デバイスが PDP ディスプレイに直接接続されているときに **MagicInfo** を使用している場合:Device モードを実行します。
- ALT + F12 を押して、**MagicInfo** ウィンドウ画面に直接移動します。
- Windows の画面で **MagicInfo** を設定するには、キーボードとマウスが必要になります。
- Windows で **MagicInfo** を設定する方法については、MagicInfo Server のヘルプを参照してください。

操作中は、AC 電源をオフにしないことを強く推奨します。

- ビボット機能のある LCD ディスプレイでは、透明チックカーはサポートされていません。
- ビボット機能のある LCD ディスプレイでは、720\*480 (SD) までの動画の画面解像度がサポートされています。
- ドライブ D: には、EWF は適用されません。
- Setup (セットアップ) が変更されたときに EWF が **Enable** になっている場合には、変更をディスクに保存するには **Commit** を行う必要があります。
- **Disable**、**Enable** または **Commit** を選択すると、システムが再起動します。

## MagicInfo



1. [Source List] メニューで **MagicInfo** を選択します。
2. MUISetup 画面が表示されます。使用する言語を選択します。
3. Install ボタンを押します。

Do not show again を選択して Install ボタンをクリックした場合には、再起動後にスケジュール画面が表示されます。

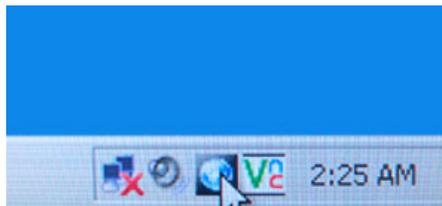


4. キーボードとマウスを接続して、キーボードの ALT + F12 キーを押します。

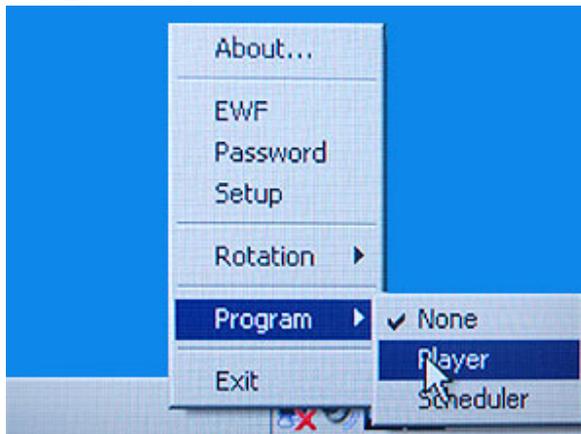
5. Windows のデスクトップが表示され、 MagicInfo pro アイコン (画像が挿入されます) が表示されます。カーソルをアイコンの上に移動します。

 注意

**Magicinfo** アイコンが通知領域に表示されない場合には、Windows デスクトップで **Magicinfo** アイコンをダブルクリックしてください。アイコンが表示されます。



6. MagicInfo pro アイコン (画像が挿入されます) を右クリックして、表示されるメニューから 'Program' --> 'Player' を選択します。



7. MagicInfo pro の [Player (プレイヤー)] 画面が表示されます。

---



注意

MagicInfo を終了するには、ALT + F12 を押します。

### Photo **M**

JPEG、BMP ファイルフォーマットがサポートされています。

### Auto



自動的に画像をウィンドウに合わせます。

### Original

元ファイルのプロパティを表示します。

## Slide Show



元ファイルのプロパティをそのまま表示します。

## 間隔



スライドショーの画像ファイルの間隔を制御します。(5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒)

---

## Rotation



画像を時計回りに 90° 回転させて表示します。

## Zoom



縮小した画像を表示します。

---

## Close



画像制御メニューを閉じます。

## 音楽



MP3 ファイルフォーマットがサポートされています。

## 映画

MPEG1、WMV ファイルフォーマットがサポートされています。

## Play



動画ファイルを再生します。

## Full Size



動画を全画面で再生します。

---

## OFFICE / HTML



PPT (Power Point)、DOC (MS Word)、XLS (MS Excel)、PDF、HTML、HTM ファイルを表示します。



- MS Office (Word、Excel、Power Point) または PDF 文書を表示するには、適切な閲覧プログラム (フリーウェア) をインストールします。

## インターネット



インターネットに接続します。

## 設定<sup>M</sup>

MagicInfo モードのさまざまな機能を設定します。設定モードにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。

### Schedule View



スケジュールを表示します。

### TCP/IP



TCP/IP 設定を変更します。

## Connection



ネットワーク設定を変更します。

## Password



パスワードは変更できます。

- パスワードは、6～12個の数字になります。  
(パスワードは、6～12個の数字で入力します)
  - 誤ったパスワードを3回入力すると、セットアップ設定がリセットされ、サーバーからの警告メッセージが表示されます。
-

- パスワードを忘れた場合には、リモコンから Info、8、2 および 4 を入力して、パスワードを初期化します。これによって、Setup モードのそれまでの設定はリセットされます。

## File



**Local** : ローカルまたはリムーバブルディスクの両方で、ファイルの削除またはコピーを行うことができます。

## Play Option



繰り返し再生および画面設定を設定することができます。

**Repeat** : 動画および音楽の再生時の繰り返しオプションを指定します。

- None** - 動画または曲を 1 回だけ再生するには、No Repeat を選択します。
-

- **File Repeat** - 動画または曲を繰り返し再生するには、Repeat File を選択します。
- **List Repeat** - リスト内の動画または曲を繰り返し再生するには、Repeat List を選択します。

**Rotation - 画像の方向を設定します。**

- **Landscape** - 画面の解像度を 1366x768 ピクセルに設定します。
- **Portrait** - 画面の解像度を 1366x768 ピクセルに設定します。

**EFW (Enhanced Write Filter) : ディスクに保存されたデータが変更または失われるのを防止します。**

- **Disable** - EFW を無効にして、保護されたディスク (ドライブ C:) 上に保存されたデータを変更できるようにします。Enable から Disable 状態に切り替えると、Commit を選択できるようになります。
  - **Enable** - EFW を有効にして、保護されたディスク (ドライブ C:) 上に保存されたデータが変更されるのを防止します。
  - **Commit** - Commit EFW が Enable (有効) のときに、保護されたディスク (ドライブ C:) に変更されたデータを Commit (書き込み) します。Commit は、EFW が Disable 状態のときには使用できません。
-

---

# トラブルシューティング

## セルフテスト機能チェック



お問い合わせの前に、以下の項目についてチェックしてください。問題が解決しない場合には、サービスセンターにお問い合わせください。

## セルフテスト機能チェック

1. コンピュータとLCDディスプレイの両方をオフにします。
2. コンピュータの背面からビデオケーブルを取り外します。
3. LCDディスプレイをオンにします。

ビデオ信号が検出されない場合でも PDP ディスプレイが正常に動作しているときには、下記の図(「信号ケーブルを確認してください」)が黒色の背景で表示されます。自己テストモードでは、LED 電源インジケータは緑色のままで、画像が画面内を動き回ります。



4. LCDディスプレイをオフにして、ビデオケーブルを接続しなおします。次にコンピュータとLCDディスプレイの両方をオンにします。

前の手順を行った後でもLCDディスプレイ画面に何も映らない場合は、ビデオコントローラおよびコンピュータシステムをチェックしてください。LCDディスプレイは正常に動作しています。

## 警告メッセージ

画面は 1360(1920) x 768(1080) の解像度でも表示することができます。ただし、「画面の解像度を変更するか、現在のモードのままにすることができます」というメッセージが短時間表示されます。周波数が 85Hz を越える場合には、LCDディスプレイでは 85Hz を越える周波数をサポートしていないため、黒色の画面が表示されます。

最適なモードが選択されていません  
推奨モード  
\*\*\*\*\*X\*\*\* 60Hz



LCDディスプレイがサポートしている解像度または周波数については、仕様 > プリセット タイミングモードを参照してください。

## メンテナンスと清掃

- 1) LCDディスプレイ筐体のメンテナンス

電源コードを抜いてから、柔らかい布で拭き取ります。

---



- ベンゼン、シンナーまたはその他の引火性物質、もしくは濡れた布は使用しないでください。
- 画面の損傷を防止するために、SAMSUNG 洗浄剤を使用することをお勧めします。

## 2) フラットパネルディスプレイ画面のメンテナンス

柔らかい布（綿ネル）で力を入れずに拭き取ります。



- アセトン、ベンゼンまたはシンナーは使用してはなりません。  
(スクリーン表面の傷または劣化の原因となることがあります)
- 発生した損傷の修理費用は、ユーザーが負担する必要があります。

## 症状と推奨される措置



注意

LCD ディスプレイは、コンピュータから受信した視覚信号を再生します。したがって、コンピュータまたはビデオカードに問題がある場合には、色彩の異常、ノイズ、ビデオモードがサポートされないなどのトラブルが発生することがあります。この場合には、まず問題の原因をチェックしてから、サービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。

1. 電源コードおよびビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されているかどうかをチェックします。
2. 起動時にコンピュータからピープ音が 3 回聞こえるかチェックします。  
(聞こえる場合には、コンピュータのメインボードの点検を受けてください)
3. ビデオカードを自分でインストールするか PC を組み立てた場合には、アダプタ (ビデオ) がインストールされているかどうか確認します。
4. ビデオ画面のスキャン速度が 50 ~ 85Hz の範囲内にあるかどうかチェックします。  
(最大解像度を使用しているときは、75 Hz を超えてはなりません)
5. アダプタ (ビデオ) ドライバのインストールに問題がある場合には、コンピュータをセーフ モードで起動して、[Control Panel (コントロール パネル)] [System (システム)] [Device Manger (デバイス マネージャ)] でディスプレイ アダプタを削除して、コンピュータを再起動してアダプタ (ビデオ) ドライバを再インストールします。

## チェックリスト



注意

- 以下の表は、発生する可能性のある問題とその解決方法を示しています。お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。不明な点がある場合には、「情報」セクションに記載されている電話番号にお電話いただくか、販売店にお問い合わせください。
- ネットワークについての詳しい情報は、MagicInfo トラブルシューティング のセクションを参照してください。

## インストールに関する問題 (PC モード)



LCD ディスプレイのインストールに関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: LCD ディスプレイの画面がちらつく。

A: コンピュータと LCD ディスプレイとの間を接続している信号ケーブルが、しっかりと接続されているか確認します。

(コンピュータの接続を参照)

## 画面に関する問題



LCD ディスプレイの画面に関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: 画面が空白になり、電源インジケータがオフになる。

A: 電源コードをしっかりと接続してから LCD ディスプレイをオンにします。

(コンピュータの接続を参照)

Q: "信号ケーブルを確認してください" というメッセージ。

A: PC またはビデオ ソースに信号ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

(コンピュータの接続を参照)

A: PC またはビデオ ソースがオンになっていることを確認します。

Q: "最適なモードが選択されていません" というメッセージ。

A: ビデオ アダプタの最大解像度と周波数を確認します。

A: プリセット タイミング モードのチャートに記載されているデータとこれらの値を比較します。

Q: 映像が縦に流れる。

A: 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。必要に応じて再度接続します。

(コンピュータの接続を参照)

Q: 画像がはっきりしない。画像がぼやける。

A: Frequency **粗調整** および **微調整** の調整を実行します。

A: すべてのアクセサリ (ビデオ拡張ケーブルなど) を取り外してから再度オンにします。

A: 解像度と周波数を推奨の範囲に設定します。

Q: 画像が安定せず、揺れる。

A: コンピュータのビデオ カードに対して設定した解像度および周波数が、LCD ディスプレイがサポートしている範囲から外れていないか確認します。外れていない場合には、LCD ディスプレイのメニューとプリセット タイミング モードに記載されている現在の情報を参照して再度設定します。

---

- Q: 映像にゴーストが発生する。
- A: コンピュータのビデオカードに対して設定した解像度および周波数が、LCD ディスプレイがサポートしている範囲から外れていないか確認します。外れていない場合には、LCD ディスプレイのメニューとプリセット タイミング モードに記載されている現在の情報を参照して再度設定します。
- Q: 映像が明るすぎる、または暗すぎる。
- A: **明るさとコントラスト** を調整します。  
(**明るさ、コントラスト** を参照してください)
- Q: 画面の色が正しくない。
- A: [OSD Color Adjustment] メニューの [**ユーザー調整**] を使用して、色を調整します。
- Q: 暗い影によってカラー画像が歪む。
- A: [OSD Color Adjustment] メニューの [**ユーザー調整**] を使用して、色を調整します。
- Q: 白色が正しく表示されません。
- A: [OSD Color Adjustment] メニューの [**ユーザー調整**] を使用して、色を調整します。
- Q: 電源インジケータが点滅する。
- A: LCD ディスプレイが OSD メモリに変更された設定を保存しています。
- Q: 画面が点滅し、電源インジケータが 0.5 ~ 1 秒間隔で点滅します。
- A: LCD ディスプレイが電源管理システムを使用しています。
- A: キーボードのいずれかのキーを押します。
- Q: 画面に何も表示されず、点滅します。
- A: [MENU] ボタンを押すと画面に「**TEST GOOD**」メッセージが表示される場合は、PDP ディスプレイとコンピュータのケーブル接続を確認し、コネクタを正しく接続してください。

## 音声に関する問題



音声信号に関する問題とその解決方法を以下に示します。

- Q: 音声が聞こえない。
- A: LCD ディスプレイの音声入力ポートとサウンドカードの音声出力ポートにオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。  
(コンピュータの接続を参照)
- A: 音量レベルをチェックします。
- Q: 音量が低すぎる。
- A: 音量レベルをチェックします。
- A: 音量を最大に調整しても音が小さすぎる場合には、コンピュータのサウンドカードまたはソフトウェアプログラムの音量コントロールをチェックします。
-

Q: 音量が大きすぎるか小さすぎる。

A: Treble および Bass を適切なレベルに調整します。

## リモコンに関する問題



リモコンに関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: リモコンのボタンが応答しない。

A: バッテリーの極性 (+/-) を確認します。

A: バッテリーが消耗していないかチェックします。

A: 電源がオンになっているかどうかをチェックします。

A: 電源コードがしっかりと接続されているか確認します。

A: 付近に特殊な蛍光灯またはネオン ランプがないかチェックします。

## MagicInfo に関する問題



起動用 USB フラッシュディスクの作成。

Q: 起動用 USB フラッシュディスクの作成

A: 1) USB 起動用ディスク作成ツールを使用して、一般的な 512MB 以上の USB 記憶メディアを起動可能ディスクにすることができます。(たとえば HP USB Disk Storage Format Tool など)

A: 2) OS のゴーストイメージをコピーと実行可能ファイルを USB ディスクにコピーします。

A: 3) BIOS メニューに移動し、BIOS のロゴ画面で F2 キーを押します。次に、USB Boot First オプションを選択して有効にし、Boot メニューで Enter キーを押します。

A: 4) USB ディスクが接続されている状態で電源をオンにし、DOS モードで起動します。

A: 5) C:\ghost.exe を実行し、メニューから Local Partition From Image を選択します。ゴーストイメージを選択して USB ディスクを更新し、目的のディスクを選択します。

A: 6) ゴーストイメージの更新が終了すると、自動的に再起動されます。

## Q & A

Q: 周波数の変更方法は?

A: 周波数は、ビデオカードの再設定によって変更することができます。



ビデオカードでサポートされている周波数は、使用しているドライバのバージョンによって異なることにご注意ください。(詳細はコンピュータまたはビデオカードのマニュアルを参照してください)

Q: 解像度の変更方法は?

---

A: Windows XP:

[Control Panel (コントロール パネル)] [Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ)] [Display (画面)] [Settings (設定)] で解像度を設定します。

A: Windows ME/2000:

[Control Panel (コントロール パネル)] [Display (画面)] [Settings (設定)] で解像度を設定します。

\* 詳細についてはビデオカードのメーカーにお問い合わせください。

Q: 省電力機能の設定方法は?

A: Windows XP:

[Control Panel (コントロール パネル)] [Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ)] [Display (画面)] [Screen Saver (スクリーン セイバー)] で解像度を設定します。

コンピュータの BIOS 設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)

A: Windows ME/2000:

[Control Panel (コントロール パネル)] [Display (画面)] [Screen Saver (スクリーン セイバー)] で解像度を設定します。

コンピュータの BIOS 設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)

Q: 筐体/LCD パネルをきれいにしたいのですが?

A: 電源コードを抜き、LCD ディスプレイを柔らかい布で洗剤または真水を使って清掃します。

洗剤が残ったままにしたり、筐体を傷つけないようにしてください。水が LCD ディスプレイの中に入らないようにしてください。

Q: ビデオの再生方法は?

A: ビデオは、MPEG1 および WMV コーデックのみをサポートしています。ビデオを再生するには、対応するコーデックをインストールします。互換性がないコーデックがあることに注意してください。

 **注意**

お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。不明な点がある場合には、「情報」セクションに記載されている電話番号にお電話いただくか、販売店にお問い合わせください。

---

---

## 情報

### より良い画質でご覧いただくために

➡ コンピュータの解像度と画面の描画頻度（リフレッシュレート）を以下の説明に従ってコンピュータ上で調整し、最適な表示をお楽しみください。TFT-LCD に最適な画質でない場合には、画面の画質が不均一になる場合があります。

- 解像度:1360(1920) x 768(1080)
- 垂直周波数 (リフレッシュレート): 60 Hz

➡ この製品には、1 ppm (百万分の 1) 以上の高精度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

- たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブ ピクセルの数は 3,133,440 (6,220,800) です。
- たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブ ピクセルの数は 3,133,440 (6,220,800) です。

➡ モニターおよびパネルの外側を清掃するときには、推奨のクリーナーを少量つけて柔らかい布で拭き取ります。LCD 領域に力をかけないように、そっと拭き取ります。過剰な力がかかると、キズがつく場合があります。

➡ 画質に不満がある場合には、Auto ボタンを押したときに表示される表示画面の「Auto Adjustment 機能」を行って画質を改善できる場合があります。a 自動調整後もノイズが発生する場合には、**微調整/粗調整** 調整機能を使用します。

➡ 静止画面を長時間表示し続けると、画像が残ったり画面がぼやけたりする場合があります。長時間モニターの前から離れるときには、省電力モードにするか、動画のスクリーンセーバーを設定してください。

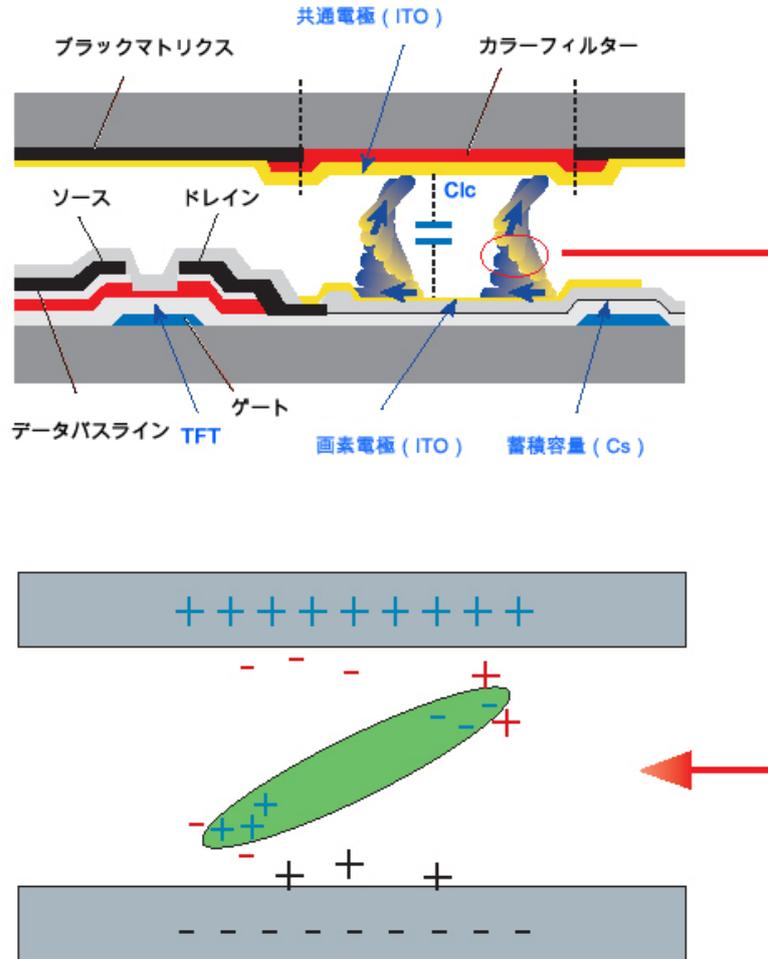
### 製品情報（残像について）

➡ **残像とは?**

LCD パネルは、通常の使用 (下記参照) において、残像は発生しません。

通常の条件とは、連続的に変化するビデオパターンとして定義されます。LCD パネルが固定されたパターンの状態で、長時間 (12 時間以上) 使用されると、ピクセル内の液晶を動作させる電極の間で若干の電圧の差が生じる場合があります。電極間の電圧の差が時間とともに増大すると、液晶が曲げられてしまいます。このような現象が発生すると、パターンが変化したときに以前のイメージが見える場合があります。これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。

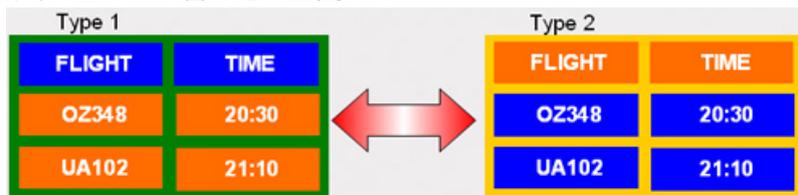
---



➤ 電源オフ、スクリーンセイバー、または省電力モード

- 20 時間使用: 電源を 4 時間オフ
- 12 時間使用: 電源を 2 時間オフ
- PC の表示プロパティの電源管理機能で、モニターの電源をオフにするよう設定します。
- 可能な場合にはスクリーンセイバーを使用します - スクリーンセイバーは、単色または動く映像のものをお勧めします。

➤ 定期的に色の組み合わせを変更する



📌 注意

- 2 つの異なる色の使用
- 2 つの色情報を 30 分ごとに切り替えます。

- 明るさが極端に異なる文字色と背景色の組み合わせは避けてください。  
また、残像が発生する原因となりますのでグレーは使用しないでください。  
避けること:明るさが大きく異なる色 (白と黒、灰色) の使用。



➔ 定期的に文字色を変更する

- 明るさの差が少ない明るい色を使用します。  
- 周期:文字色と背景色を 30 分間隔で変更



- 30 分ごとに、文字を動かして変更します。



- すべての領域に、ロゴとともに移動するイメージを定期的に表示します。  
- 周期:ロゴとともに移動するイメージを 4 時間使用することに 60 秒表示します。
- 残像を抑えるのもっとも効果的な方法は PC を使用していないときにスクリーンセイバーが起動するように設定することです。保証も、操作ガイドに基づいて制限されています。

➔ 製品に画面スクロール機能を使用する

- 画面スクロール機能を使用する  
- 症状:黒色の水平線が上下に移動します。



- 選択方法

- 操作ガイド:OSD Menu (OSD メニュー) -> Set Up (セットアップ) -> Safety Screen (安全画面) -> Screen Scroll (画面スクロール)
- 間隔:1 ~ 10 時間 (推奨: 1 時間) 1)
- 時間: 1 ~ 5 秒 (推奨: 5 秒)

 注意

(CD のユーザーガイドで「OSD 機能」を参照してください。一部のモデルでは利用できません)

➡ 製品に画面ピクセル機能を使用する

- 画面ピクセル機能を使用する
  - 症状:黒色の点が上下に移動します。



- 選択方法

- 操作ガイド:OSD Menu ( OSD メニュー ) -> Set Up ( セットアップ ) -> Safety Screen ( 安全画面 ) -> Pixel ( ピクセル )
- 間隔:1 ~ 10 時間 ( 推奨: 1 時間 ) 1 )
- 時間: 10 ~ 50 秒 ( 推奨: 50 秒 )
- 画面バー機能を使用する
  - 症状:黒色の水平/垂直線が上下に移動します。



- 選択方法

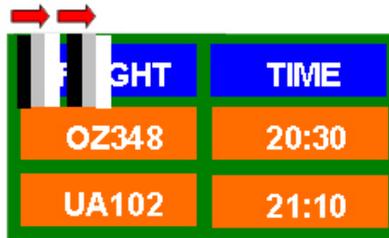
- 操作ガイド:OSD Menu ( OSD メニュー ) -> Set Up ( セットアップ ) -> Safety Screen ( 安全画面 ) -> Bar ( バー )
- 間隔:1 ~ 10 時間 ( 推奨: 1 時間 ) 1 )
- 時間: 10 ~ 50 秒 ( 推奨: 50 秒 )

 注意

(CD のユーザーガイドで「OSD 機能」を参照してください。一部のモデルでは利用できません))

➡ 製品に画面消去機能を使用する

- 画面消去機能を使用する
  - 症状:2 つの垂直なブロックが表示を消していきます。



The diagram shows an OSD menu with a green border. At the top left, there are two red arrows pointing right. Below them are two vertical bars, one black and one white. To the right of these bars are two blue boxes: the first contains 'GHT' and the second contains 'TIME'. Below these are two orange boxes: the first contains 'OZ348' and the second contains '20:30'. Below these are two more orange boxes: the first contains 'UA102' and the second contains '21:10'.

GHT	TIME
OZ348	20:30
UA102	21:10

### - 選択方法

- 操作ガイド:OSD Menu (OSD メニュー)-> Set Up (セットアップ) Safety Screen (安全画面) -> Eraser (消去)
- 間隔:1 ~ 10 時間 (推奨: 1 時間) 1)
- 時間: 10 ~ 50 秒 (推奨: 50 秒)

### 注意

(CD のユーザーガイドで「OSD 機能」を参照してください。一部のモデルでは利用できません)

---

# 仕様

## 一般情報



---

### 一般情報

モデル名 SyncMaster 400TSn

---

### LCD パネル

サイズ 40 "対角線

表示範囲 885.17 mm (H) X 497.66 mm (V)

ピクセル ピッチ 0.648 mm (H) X 0.648 mm (V)

---

### 同期

水平 30 ~ 81 kHz

垂直 56 ~ 85 Hz

---

### 表示色

16.7 M

---

### 解像度

最適解像度 1360 x 768 @ 60 Hz / 1366 x 768 @ 60 Hz (使用するグラフィックカードによって異なります)

最大解像度 1920 x 1080 @ 60 Hz (RB)

---

### 入力信号、終端

RGB Analog (アナログ)、DVI(Digital Visual Interface) Compliant Digital RGB

0.7 V<sub>p-p</sub> ±5 %

分離 H/V 同期、コンポジット、SOG

TTL レベル(V ハイ ≥ 2.0 V、V ロー ≤ 0.8 V)

---

### 最大ピクセルクロック

165 MHz (アナログ、デジタル)

---

### 電源

AC 100 - 240 V~ (+/- 10 %)、50/60 Hz ± 3 Hz

---

### 信号ケーブル

15 ピン - 15 ピン D-sub ケーブル、脱着式

DVI-D to DVI-D コネクタ、脱着式

---

**寸法 (W x H x D) / (スタンドを除く)**

971 x 584.5 x 128 mm

**寸法 (W x H x D) / 重量 (スタンドを含む)**

971 x 645 x 311 mm / 28.6 kg

**VESA 取付インターフェイス**

600 mm x 400 mm

**環境条件**

動作時	温度:50 ~ 104°F (10 ~ 40°C)
	湿度:10 ~ 80 %、結露しないこと

記録装置	温度:-4 ~ 113°F (-20 ~ 45°C)
	湿度:5 ~ 95 %、結露しないこと

動作時	温度:10 ~ 40°C (50 ~ 104°F)
	湿度:10 ~ 80 %、結露しないこと

記録装置	温度:-20 ~ 45°C (-4 ~ 113°F)
	湿度:5 ~ 95 %、結露しないこと

**音声特性**

音声入力 1	RCA ジャック赤 (右) 白 (左) 0.5 Vrms (-9 dB)
--------	--------------------------------------

音声入力 2	RCA ジャック赤 (右) 白 (左) 0.5 Vrms (-9 dB)
--------	--------------------------------------

PC 音声入力	3.5 Ø ステレオ ジャック、0.5 Vrms (-9 dB)
---------	----------------------------------

周波数	RF:80 Hz ~ 15 kHz (-3 dB において)
-----	--------------------------------

応答	A/V:80 Hz ~ 20 kHz (-3 dB において)
----	---------------------------------

**プラグアンドプレイ機能**

この LCD ディスプレイは、プラグ & プレイ互換システムにインストールすることができます。LCD ディスプレイとコンピュータシステムとのインタラクションによって、最適な操作環境と LCD ディスプレイの設定が行われます。ほとんどの場合、ユーザーが設定の変更を必要としない限り、LCD ディスプレイのインストールは自動的に行うことができます。

**ドット欠けについて**

この製品には、1 ppm (百万分の 1) 精度の高度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブピクセルの数は 3,133,440 です。



設計および仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

## MagicInfo - クライアント

項目	仕様	備考
LAN		1 Gbps
USB	キーボード/マウス、マウス ストレージ機器対応	USB リムーバブル記憶装置 をサポート
目次	写真	サポートするファイルフォ ーマット:BMP/JPEG 2274x1704 以下
	音楽	サポートするファイルフォ ーマット:MP3 音声帯域幅:50 ~ 15 kHz
	映画	- MPEG1、WMV - 最大 1280 x 720 30 fps
ファイル	MS Office(Word、Excel、 Power Point)、HTML、PDF	- フォーマットやバージョン の違いにより、サポートされ ないファイルがあります。  - 適切な閲覧 (フリーウェ ア) プログラムをインストー ルして、MS Office ( Word、 Excel、Power Point ) または PDF 文書を表示します。
インターネットブラウザ	MS Internet Explorer	Flash、Java アプレット、セ キュリティサイトはサポート せず。
言語	英語	
OS	Windows XP を組み込み	

## MagicInfo Pro - サーバー要件

	CPU	RAM	イーサネ ット	OS	アプリケー ション
最小	P1.8 Ghz	256 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降
推奨	P3.0 Ghz	512 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降
	CPU	RAM	イーサネ ット	OS	アプリケー ション
最小	P1.8 Ghz	256 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降
推奨	P3.0 Ghz	512 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降

## PowerSaver

この LCD ディスプレイには、PowerSaver と呼ばれる消費電力管理システムが内蔵されています。このシステムは、LCD ディスプレイが一定時間使用されなかった場合に低消費電力モードに切り替え、エネルギー消費を節約します。LCD ディスプレイは、キーボードのキーが押されると自動的に通常の動作状態に戻ります。消費電力を抑えるために、必要ない場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。PowerSaver システムは、コンピュータにインストールされた VESA DPM 互換のビデオカ

ードで動作します。お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアユーティリティを使用して、この機能を設定してください。

モード	通常動作	省電力モード	電源オフ (電源スイッチ)
電源インジケータ	Green (緑)	緑色、点滅	オフ
消費電力	228 ワット	5 ワット未満	0 ワット

## プリセット タイミング モード

コンピュータから送られてきた信号が以下のプリセット タイミング モードと同じ場合には、画面は自動的に調整されます。しかし、信号が異なる場合には、電源 LED が点灯していても画面に何も映らなくなる場合があります。ビデオカードのマニュアルを参照して、以下のように画面を調整してください。

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、848 x 480	31.020	60.000	33.750	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 X 768	47.776	59.870	79.500	-/+
VESA、1280 X 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 X 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 X 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	60.015	85.500	+/+
VESA、1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	+/+
VESA、1920 x 1080	66.587	59.934	138.500	+/-



### 水平周波数

画面の右端から左端を水平につなぐ1本の直線进行スキャンするのにかかる時間を水平サイクルと言い、

水平サイクルの逆数を水平周波数と言います。単位: kHz

垂直周波数

蛍光灯と同じように、画面は同じ画像を1秒間に何回も繰り返し表示して、ユーザーに対して映像を表示しています。この繰り返しの周波数を、垂直周波数またはリフレッシュレートと言います。単位: Hz

## 一般情報



### 一般情報

モデル名 SyncMaster 460TSn

### LCD パネル

サイズ 46"対角線

表示範囲 1018.08 mm (H) X 572.67 mm (V)

ピクセルピッチ 0.53025 mm (H) x 0.53025 mm (V)

### 同期

水平 30 ~ 81 kHz

垂直 56 ~ 85 Hz

### 表示色

16.7 M

### 解像度

最適解像度 1920 x 1080 @ 60 Hz (RB)

最大解像度 1920 x 1080 @ 60 Hz (RB)

### 入力信号、終端

RGB Analog (アナログ)、DVI(Digital Visual Interface) Compliant Digital RGB

0.7 V<sub>p-p</sub> ±5 %

分離 H/V 同期、コンポジット、SOG

TTL レベル(V ハイ ≥ 2.0 V、V ロー ≤ 0.8 V)

### 最大ピクセルクロック

165 MHz (アナログ、デジタル)

### 電源

AC 100 - 240 V~ (+/- 10 %)、50/60 Hz ± 3 Hz

**信号ケーブル**

15 ピン - 15 ピン D-sub ケーブル、脱着式

DVI-D to DVI-D コネクタ、脱着式

**寸法 (W x H x D) / 重量 (スタンドを含む)**

1104.2 x 658.4 x 134.3 mm

**寸法 (W x H x D) / 重量 (スタンドを除く)**

1104.2 x 720.0 x 311.0 mm / 34.3 kg

**VESA 取付インターフェイス**

600 mm x 400 mm

**環境条件**

動作時	温度:50 ~ 104 °F (10 ~ 40 °C)
	湿度:10 ~ 80 %、結露しないこと
記録装置	温度:-4 ~ 113 °F (-20 ~ 45 °C)
	湿度:5 ~ 95 %、結露しないこと
動作時	温度:10 ~ 40 °C (50 ~ 104 °F)
	湿度:10 ~ 80 %、結露しないこと
記録装置	温度:-20 ~ 45 °C (-4 ~ 113 °F)
	湿度:5 ~ 95 %、結露しないこと

**音声特性**

音声入力 1	RCA ジャック赤 (右) 白 (左) 0.5 Vrms (-9 dB)
音声入力 2	RCA ジャック赤 (右) 白 (左) 0.5 Vrms (-9 dB)
PC 音声入力	3.5 Ø ステレオ ジャック、0.5 Vrms (-9 dB)
周波数	RF:80 Hz ~ 15 kHz (-3 dB において)
応答	A/V:80 Hz ~ 20 kHz (-3 dB において)

**プラグアンドプレイ機能**

この LCD ディスプレイは、プラグ & プレイ互換システムにインストールすることができます。LCD ディスプレイとコンピュータシステムとのインタラクションによって、最適な操作環境と LCD ディスプレイの設定が行われます。ほとんどの場合、ユーザーが設定の変更を必要としない限り、LCD ディスプレイのインストールは自動的に行うことができます。

**ドット欠けについて**

この製品には、1 ppm (百万分の 1) 精度の高度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブピクセルの数は 6,220,800 です。



設計および仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

## MagicInfo - クライアント

項目	仕様	備考
LAN		1 Gbps
USB	キーボード/マウス、マウス トレージ機器対応	USB リムーバブル記憶装置 をサポート
目次	写真	サポートするファイルフォ ーマット:BMP/JPEG
	音楽	サポートするファイルフォ ーマット:MP3
	映画	- MPEG1、WMV  - 最大 1280 x 720 30 fps
ファイル	MS Office(Word、Excel、 Power Point)、HTML、PDF	- フォーマットやバージョン の違いにより、サポートされ ないファイルがあります。  - 適切な閲覧 (フリーウェ ア) プログラムをインストー ルして、MS Office ( Word、 Excel、Power Point ) または PDF 文書を表示します。
インターネットブラウザ	MS Internet Explorer	Flash、Java アプレット、セ キュリティサイトはサポート せず。
言語	英語	
OS	Windows XP を組み込み	

## MagicInfo Pro - サーバー要件

	CPU	RAM	イーサネ ット	OS	アプリケー ション
最小	P1.8 Ghz	256 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降
推奨	P3.0 Ghz	512 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降
	CPU	RAM	イーサネ ット	OS	アプリケー ション
最小	P1.8 Ghz	256 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降
推奨	P3.0 Ghz	512 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 9 以降

## PowerSaver

この LCD ディスプレイには、PowerSaver と呼ばれる消費電力管理システムが内蔵されています。このシステムは、LCD ディスプレイが一定時間使用されなかった場合に低消費電力

モードに切り替え、エネルギー消費を節約します。LCD ディスプレイは、キーボードのキーが押されると自動的に通常の動作状態に戻ります。消費電力を押さえるために、必要な場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。PowerSaver システムは、コンピュータにインストールされた VESA DPM 互換のビデオカードで動作します。お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアユーティリティを使用して、この機能を設定してください。

モード	通常動作	省電力モード	電源オフ (電源スイッチ)
電源インジケータ	Green (緑)	緑色、点滅	オフ
消費電力	310 ワット	5 ワット未満	0 ワット

## プリセット タイミング モード

コンピュータから送られてきた信号が以下のプリセット タイミング モードと同じ場合には、画面は自動的に調整されます。しかし、信号が異なる場合には、電源 LED が点灯していても画面に何も映らなくなる場合があります。ビデオカードのマニュアルを参照して、以下のように画面を調整してください。

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、848 x 480	31.020	60.000	33.750	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 X 768	47.776	59.870	79.500	-/+
VESA、1280 X 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 X 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 X 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	60.015	85.500	+/+
VESA、1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	+/+
VESA、1920 x 1080	66.587	59.934	138.500	+/-



#### 水平周波数

画面の右端から左端を水平につなぐ1本の直線を一スキャンするのにかかる時間を水平サイクルと言い、水平サイクルの逆数を水平周波数と言います。単位: kHz

#### 垂直周波数

蛍光灯と同じように、画面は同じ画像を1秒間に何回も繰り返し表示して、ユーザーに対して映像を表示しています。この繰り返しの周波数を、垂直周波数またはリフレッシュレートと言います。単位: Hz

---

---

# 付録

## お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

 0120-327-527

受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:00  
ホームページ <http://www.samsung.com/jp>  
住所 〒135-0062 東京都江東区東雲 2-6-38  
Fax 03-3527-5533



予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 用語

ドットピッチ	モニターの画像は、赤色、緑色および青色のドットで構成されています。ドットの間隔が小さいほど、解像度は高くなります。同じ色の2個のドット間の距離を「ドットピッチ」と言います。単位:mm
垂直周波数	ユーザーに対して画像を作成して表示するには、1秒間当たり何回も画像を再描画しなければなりません。1秒当たりのこの繰り返しの回数を、垂直周波数またはリフレッシュレートと言います。単位:Hz  例:同じ光が1秒間に60回繰り返すときには、60Hzとなります。
水平周波数	画面の右端から左端を水平につなぐ直線をスキャンするのにかかる時間を、水平サイクルと言います。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。単位:kHz
インタレース法とノンインタレース法	画面の水平線を上から下に順番に表示していく方法をノンインタレース法と言い、奇数番目のラインを表示してから偶数番目のラインを表示する方法をインタレース法と言います。ノンインタレース法は、明確な画像にするために多くのモニターで使用されています。インタレース法は、TVで使用されているものと同じです。
プラグ & プレイ	コンピュータとモニターが自動的に情報を交換することにより、ユーザーに最高の画質を提供する機能です。このモニターは、プラグ & プレイ機能について国際規格 VESA DDC に対応しています。
解像度	画面の画像を構成するのに使用される水平および垂直方向のドットの数を、「解像度」と呼びます。この数は、表示の正確さを示しています。高い解像度では、多くの画像情報を画面上に表示できるため、複数の作業を実行する場合に適しています。  例:解像度が 1360 X 768 の場合、水平方向のドットが 1360 個 (水平解像度)、垂直線 768 本 (垂直解像度) で構成されていることを意味します。

---

## 制限事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。

© 2008 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

Samsung Electronics Co., Ltd.の文書による許可なしには、いかなる複製も堅く禁じます。

内容に含まれる誤り、または設置や使用の結果として起こる損害について、Samsung Electronics Co., Ltd.は一切の責任を負いません。

Samsung は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商用です。Microsoft, Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。VESA、DPM および DDC は Video Electronics Standard Association の登録商標です。ENERGY STAR®の名称とロゴは U.S. Environmental Protection Agency (EPA)の登録商標です。SAMSUNG は ENERGY STAR®の一員として、この製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR®ガイドラインを満たしていると判断しました。そのほかこの文書に含まれるすべての商品名は、各企業・団体の商標もしくは登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般 OA 用として設計・製造されています。一般 OA 用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

## VCCI について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

### 製品ユーザー登録

この度はサムスン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご購入いただきましたサムスン製品は下記の URL で製品ユーザー登録が行えます。登録されたユーザーの方々には、サムスンの最新ニュース、新製品情報、イベント/キャンペーン、各種ユーザー向けプログラム、サービス情報など多彩な情報をいち早くお届けします。

さらにデータベースを利用した顧客管理システムにより、お買い上げいただいた製品に不具合が生じた場合などの際に、製品ユーザー登録していただきますと迅速なアフターサービスのご提供が可能となりますので、お手数でも製品ユーザー登録をお願い申し上げます。

製品ユーザー登録専用ホームページ URL <http://www.samsung.com/jp/PRC/> \*なお、お客様の情報は弊社からのご連絡、ご案内のみにご利用させていただきます。